大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年十二月一日發行　昭和三年十一月二十八日印刷納本

無產階級戰鬪雜誌

進め

定價十錢

第六年 ◆ 十二月 ◆ 第十二號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一管

卷頭言 日本無産青年同盟の結成の意義とその任務……上杉定義
時評
◇生命と引換への警察官救慰基金……布施辰治
◇化けそこねた三土藏相……佐々木敏三
◇玉碎主義を打破れ……羽田光雄
◇アルベール・トーマ來る……同
單一無産政黨結成を目標とする合同論の行詰りと其の精算……板垣良一
社會民主主義か共産主義か……
◆我が國社會運動既定の運命……佐藤護郎
農民に土地と自由を……
◆農民戰線統一への道……南三平
來たれ日本無産青年同盟の旗の下に……日本無産青年同盟準備會
米國は何處へ行く……佐々木敬三
社會運動に投ぜんとする處女達に與ふ……吉田初子
社會主義に投ぜんとするインテリゲンチヤに與ふ……大野佳良
全土戰報
町村會議員改選が近づいた用意はよいか……日勞黨島根支部
反動モーロー團工友會に呈す……還友同志會東工支部委員 難波仙衛
滋賀縣下の暴壓……志賀、松田生
北海道戰報……札幌 一・市民
秋田縣の泥棒地主……秋田縣 一讀者
青年訓練所の本質を認識せよ……秋田縣、辻峰太郎
社民の兄弟しつかりやつて呉れ……神奈川、佐々木
起てよ市井の貧窮兒……横濱 一讀者
因襲を打破つて戰ふ……島根縣八束郡熊野村S生
戰列は整ふた又は闘争たH勞黨名古屋支部誕生す……名古屋青山誠之助
農民の村會と在郷軍人會の活躍……日勞新聞第四十一號
進め讀者會生る……大野生
電燈料金値下に立つ信州大衆黨……信州大衆黨常任執行委員會
進め讀者會設立さる……廣島支局
講座 勞働組合法に對する吾等の態度(一)……高見憲介
ある教誨(創作)……中島安太郎
彈壓政治の忠僕達(創作)……李眞植
讀物 理想郷を造らんとして支那革命に從ふ……福田狂二
進め社だより 社會淸.用語 時事日誌 寄書奇言

進め社本部移轉

東京市芝區南佐久間町二の一八
電話銀座二〇七七番

日本紡織勞働組合機關紙
紡織女工の可憐なる團結、その先頭に輝くたいまつはこれ。

月刊 **正義の光**

一部 拾錢
半年 六拾錢

東京市芝區芝公園五の四
發行所 日本紡織勞働組合

全國農民組合機關紙

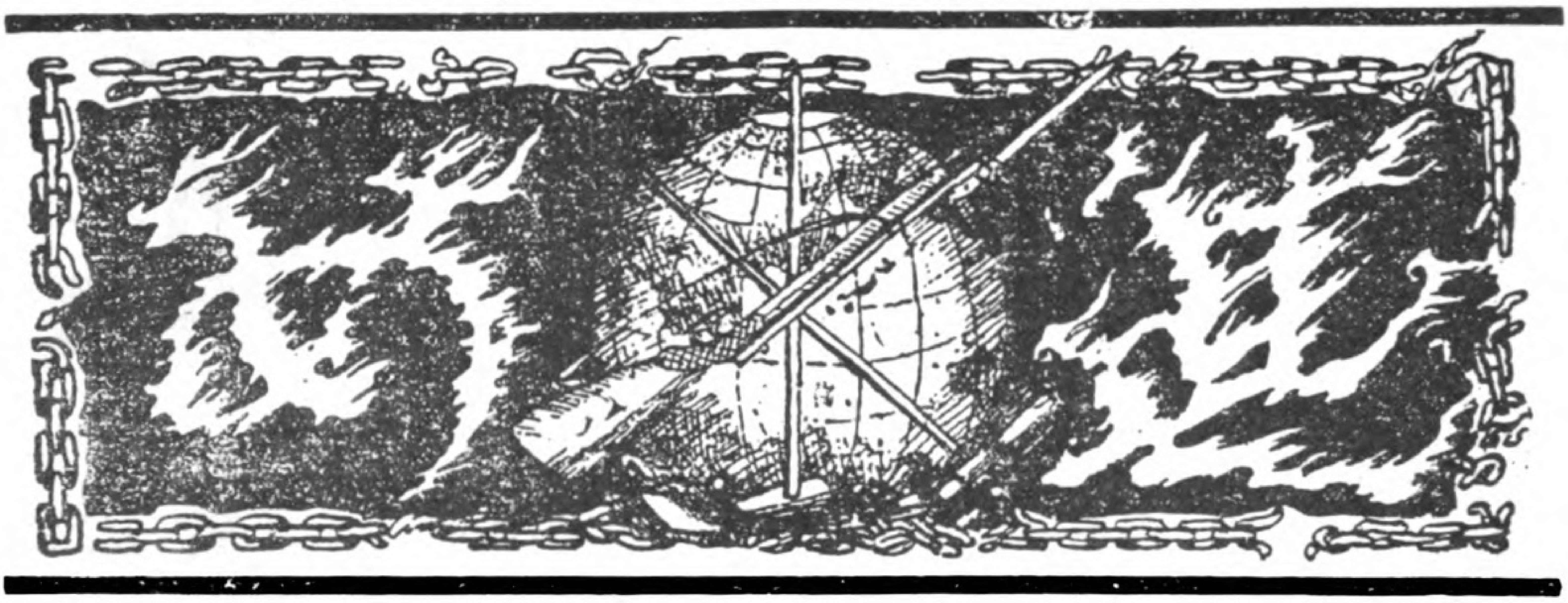
働く農民に土地を保證せよ
全國の農民の血をわかす我等の巨砲

土地と自由

月刊 一部五錢

大阪市北區堂島濱通三
全國農民組合本部

萬國の無產者團結せよ



第六年◆戰鬪◆進め◆雜誌◆第十二號

第五十六議會に直面して無產代議士に望む

例年、師走の風の吹く頃、吾が日比谷座に帝國議會劇と名を冠して公演する一團があるが、帝國議會劇は議會劇其のものゝ行詰りと、永年に亘る失政劇とは、漸く觀客としての國民の人氣信望を地に拂ひ、今や國民は一人として、この議會劇に對する一片の感興をすら持ち合すものがなくなつた。

然るに勸進元たる田中首相を始めとして、座員政友會の諸優は一度失墜した國民の信望を再建せんものと日夜焦々として、民政黨、其他のエキストラと共に華々しくも第五十六回目の公演を試みんとしてゐる。

出し物は、劍劇の雄を以つて自から盲信する猛優諸君の爲めに書下された、曠古の反動迷作者、田中おらが大將の傑作、「二十世紀末世姿、反動おらが大將暴威」を上演せんとして開場前の人氣を煽るべく鳴物入で宣傳してゐる。

脇役と謂はんよりは、寧ろ興業主と言ふを適切なる言葉とする遞相久原房之助は開場に先達つての、エキストラの統一と合流とを目的とする策動の暗中劇に、京都の御大典を背景として意外にも、黄金色の香りの前に成功を收め、遂に憲政一新會を抱込み、更に助平親爺の色慾的魔手は、權妻第三期にある醜婦、床次のお竹さんにチョッカイを出して、これとも醜態なる野合を遂げ、「おらが天下も太平ぢや」と田中をしてヘラヘラ笑ひをさせるに至つたが、これ等は單に議會劇を安全に過ごさんとする目的以外に何等本質的のものがなく、只、政友會の天下をして一日も永からんことに努める以外何物もない。

國民、殊に吾が無產階級は、既にこの反動政友會內閣が一日續くことは一日の損失であることを知つてゐる。國民の信望を失ひ、無產階級の敵と叫ばれる內閣に存在の理由のないことは自から明である。然るに彼等は猶も國民を誤魔化し、飽くなき政權慾の擴張を以て日夜の業とし、何等根本的の國是に邁進せんとするの誠意なく一時的に其の場を糊塗して其の日を過ごさんとしてゐるが、斯の如きは、塵箱の底を探して其の日の生活の資を求めんとする浮浪者の其の日暮らしと何等選ぶ處なく、一國の政治をして彼等に任する資格なきは勿論、餘りにもサモシキ沙汰と言はざるを得ない。今期の議會に於て反動政府は何を爲す可きであらうか、彼等は彼の莫大なる反動豫算を通過させ、塗炭に苦しむ無產階級を、いやが上にも搾らんとするであらう。

又、本議會の重要問題とする對支外交の如き、要するに現政府が吾國資本閥の手先きとなつて、資本閥の國際投資の安全を保證し支那勞働者の勞働力を吾國資本閥の前に提供して其の飽くなき搾取に任せんとするものである。更に又、勞働組合法案の如き、勞働者の團結權を無視したる勞働者壓迫の惡法案であつて、吾等階級として何等利するところなきものである。既に、無產階級の敵としての田中反動內閣の存在を否定し、資本閥と地主との利益を目的とする議會を信任せざる吾等は、茲に至つて彼等に何物をも望まない。

去りながら、資本の攻勢と、彈壓とに對する無產階級の鬪爭對象として議會を一つの目標とする時、議會の經過と動勢とに一瞬と雖も監視の眼を外すことを許さざるは言を俟たない。この際に於て、一縷の望みを望むものは、普選に依つて議會に送られたる、吾が光輝ある無產代議士八名の諸君にである。諸君は彼の怪色魔たる久原が手を染めるには餘りにも純眞なる乙女ではあつたが、第五十五議會の試練も既に經て來た諸君である。

諸君を光輝ある無產階級の代表者として選出した無產大衆は、御大典に際して「はじめて着た燕尾服の味」を味はしめ、勳四等を頭上に戴き、議會內に於て「處女の如きハニカミ」をなさせんが爲めにのみ選出したものではない。

諸君は、立候補を宣するに臨んで、無產階級の利害を代表し、無產階級の爲めに議場に血を流すとも死を以て事に當らんことを大衆の前に誓つたではないか。

諸君よ、諸君はこの誓ひを忘れず、吾人の前に於て凡百のブルジョア議員を愧死せしめよ、吾人は百の無產代議士を列べることを望む前に、一人のリープクネヒトの出現を望むものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本無産青年同盟の結成の意義とその任務

上杉定義

一

青年同盟の再建が叫ばれてより長い歳月を費した。そして今漸く勞働青年、農村青年によつて具體的再建の一歩が踏み出されんとしてゐる。勿論青年同盟の再建に對しては、支配階級と、封建的優越感に侵されてゐる組合政黨の幹部、及び成年勞働者以外には異議を唱へるものはない。この全無産階級の要望によつて再建されんとする青年運動もその結成への途上において、四つの異つた道を選んだ。日本無産青年同盟準備會を除く外は凡て政黨の下に結集され、その同盟準備會間においても既に悲しむべき對立の影すらたゞよふ。三つの準備會のあるにも係はらず、日本無産青年同盟の結成の意義と任務は、かゝる情勢においてのみ特殊的存在の必要が生じるのである。以下各青年同盟準備會を批判しつゝ、日本無産青年同盟の立場を明かにし、青年運動の進路を規定する事とする。

それには先づ日本の資本主義の發展過程、又その支配階級の政策に對抗する無産階級陣營を簡單に見て置く必要がある。日本に於ける資本主義は既に行詰りを呈しており、何等かの方法をもつてこれを打開すべく、焦慮してゐる。そこには産業の合理化による失業者の續出となり、資本主義生産の行詰りは人口の遞次的過剩を告げ、大衆の生活は愈々低下する。その大衆の反抗抑壓のために、支配階級は勞農戰線の全組織の破壞を企てる。それと同時に世界帝國主義國間の對立は殖民地再分割の爲に帝國主義戰爭の準備を整へつゝある。東京朝日新聞は無産運動は沈衰したと書き大山郁夫氏は受難時代が來たとコボす。何れにしても、支配階級の彈壓の魔手が積極的に階級運動の上に覆ひ被つて來た事丈は事實である。斯うした急迫した客觀的情勢となつたるが故に、必要だ！必要だと口ではかり叫んでゐた青年同盟も具體的に結成されなくてはならなくなつたのである。この支配階級の彈壓政策に對抗する無産階級の陣營は、三月の共産黨事件以來受け太刀の形となり、陣營の整理のために、合同問題が又一しきり起つて來た。無産大衆黨の出現によつて、各黨はその態度決定の必要に迫られ、日勞黨の擴大中央委員會社民黨の中央委員會・日本農民黨大會、新黨準備會の全國代表者會議等を通じて眞劍に或は形式的に一應は論議された。

その結果、各黨共その支持團體の一時的動搖を起したものもあつたが、合同委員會の附託となつたり、單一大衆黨の結成に向つて邁進すると再び強張して、愛黨精神の下に固る事を決議するもありて一波亂は起したけれども、大海に石を投じたと同じく、表面はもとの靜けさに返つた。たが合同論を通じてその裏面を覗へば、既に表面に出されしものもあるが、右翼結成論あり、左翼結成論あり、兩者を抱含せんとする意圖、乃至は分裂を恐れて、その防止のための單一大衆黨の結成論もある。一方においては合同の實現が困難であり、それのみに黨の勢力を費す事に反對して、合同論の打切りをホノめかすものもある。合同論にアクビをして、政治的無關心に落ち入らんとする大衆を目標として、反動的愛國無産黨の結成を考へるタワケ者も居る。少くとも今の無産階級の戰線程多岐多彩に亘るものは、恐らく前代未聞の現像であらう。

資本主義の攻勢、無産陣營の分裂狀態の中に生れ出でる青年同盟は、當面いかなる使命をもつて、いかなる方向に進むべきかを、先づ結成の當初に於て決定しなくてはならない。私は以上の狀勢を基準として各青年同盟を批判して行く事とする。

二

現に日本の青年運動は、同一の目標の下に新青年同盟（新黨系）全國勞農青年同盟（日勞系）社會青年同盟（社民系）日本無産青年同盟（無所屬）の四つの準備會をもつてゐる。この四つの青年同盟準備會は、日本無産青年同盟の特殊的な存在を除いて、殆ど同一の批判の對照となる事と思ふ。全國勞農青年同盟は日勞黨の下に結集され、單一大衆青年同盟を目標として、鬪爭を展開しつゝあり、日勞黨と同じく中間的立場にある。中間的立場の存在に對しては論議の余地はあるかも知れぬが、割合に無難な立場であつて、批判の余地も隨つて少い。

そこで私は社會青年同盟準備會に對して新青年同盟準備會が送つた聲明書を中心として兩者を批判して行く。その前に新青年同盟準備會の過去に於ける鬪爭經路に一言觸れておく必要がある。新青年同盟は、全日本無産青年同盟の再建されんとするものであり、その構成員も殆んど舊青年同盟員である。新青年同盟の前身とも言ふべき舊全日本青年同盟は、勿論結成當初にあつては大衆的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年同盟であつたが、最後に至つては、これを共產主義青年同盟迄押し進めんとして、客觀的情勢も何も一切おかまひなしで、闘爭を續けたため、遂に失敗し、少數意識分子の集團となつて大衆の支持を失ひ、共產黨事件の發生と共に、その指導者の殆んど凡てを刑務所に送り、闘爭的には支配階級によつて解散せられた。斯うした苦い経驗をもつた新青年同盟は、過去の誤謬を清算しつゝ、大衆的戰一青年同盟の結成に忠實に邁まんとしてゐるし、又進んで行くであらう事を望むものではあるが、過般の社會青年同盟準備會に寄せた聲明書は次の如く記してゐる

（前略）かゝる時期にあつてもかの社會民主々義者達はその卑劣振を發揮することを忘れない。二十二日、雜誌「勞農」派による「無產大衆黨」の結成、更に右翼民主々義者による分農政黨、勞働組合、農民組合戰線の意識的攪亂、妨害を見よ！今や又彼等は青年戰線統一に對して攪亂と妨害の魔手を差しのべたのだ！彼等は生理的に、心理的に、最も發育期にある青年勞働者を自己の指導下に喰ひ止め、青年の「特殊性」を逆用し、これを反動的教育によつて忠實なる反動陣營たらしめやうとしてゐるのだ。彼等は御大禮を前に資本家地主の反動政府が我が全運動を撲滅するものであり、反動的恐怖政治に頭を低くして奉仕するものである。

我が新青年同盟準備會は、右翼社會民主々義者のかゝる陰謀の下に行はれんとする社會青年同盟の結成に對して斷然反對すると共に、右翼陣營内に於ける青年大衆の反社會民主々義的行動を支持し、保育し、激成し、全無產大衆的青年組織確立のために、全無產青年團體代表者會議の開催を主張し、そのために邁進するものである。

右聲明す

一九二八、八六

新青年同盟組織準備會本部

これを見る時、新青年同盟内にも、觀念的小兒病患者が今尙殘存してゐる事を示してゐる。右翼反動主義者の指導の下に「我等は現實主義に立脚し、無產青年の大衆的結成の實現を期す」と綱領に掲げて生れんとする社會青年同盟に對しては、一應は反對する、たが社會青年同盟が右翼幹部の意圖によつて發生し、その陰謀の下に結成されんとするものであると斷定する事は餘りにも早計である。例へかゝる意圖の下に結成されしものであるとしても、生理的にも心理的にも最も發育期にあり、隨つて純眞であり、行動的である青年大衆が右翼改良主義者の指導下に滿足するものではない。それは何時かは飛躍しその行動的組織體を確立する事は餘りにも明かな事である。この青年同盟が改良主義的幹部の意圖によつて誕生したものでない事は、その結成の途上において行悩みつゝある事によつても知られる。左の一文もその參考にするに足るものと思ふ。

民衆青年同盟の發會式
俄かに無期延期となる

社會民衆黨内に於ける社會民衆青年同盟は既に綱領規約草案等も發表し着々結成大會にまで促進せしめて居たことは本通信の屢々詳報した通りであるが、最近に至り俄かに結成運動上に行悩みを生じて來た、最初十九日發會式を擧行する豫定でその準備も成立して居たと云ふ矢先に於ける行悩みと、諸種の期待を裏切つたことは各方面に意外の感を抱かして居る模樣である。

如何なる理由の下に、發會式が無期延期の止むなき狀態に落ち入つたか、それに就ては社民黨青年部に於ては口を緘じて多くを語らないが、某消息通の話に依れば總同盟本部の幹部間より青年同盟の羅進と干渉との結果と傳へられ一例として最初の綱領或は發會主旨の字句の點にすら苦情が出で更に第三回準備會に於ては、青年同盟結成を總同盟内の全組合に於ける其の意志に添ふべきであると云ふ殆んど不可能な提議すら持ち出されたと云ふ、これ等の點を見て綜合して考慮する時總同盟幹部の手に依つて、青年同盟は誅殺されたのであると極端な評さへ下されてゐる。

（日本社會運動通信八月十七日所載）

偶日本自動車運轉手組合の高木輝夫氏に對して、社會青年同盟準備會の名によつて寄せられた書簡の一節には次の如く書かれてゐる。

「團體、政黨、新無產青年同盟に對しての態度は今後の客觀的情勢の推移に依りて具體方針を發表實行致します。本同盟の支持せる政黨幹部は勿論相互に　力すべき事を決定してゐます。本同盟の鬪爭任務は一部左翼が解してゐる如く單なる民主々義擁護をもつて全目的とするものではありません」（原文のまゝ）

各青年同盟共、内部における暗鬪の公開を避けてゐるために、その核心をつかむ事は中々困難ではあるが、以上の引用文によつて、社會青年同盟の結成途上において、未だ確固たる組織體のなきため、幹部の壓迫の下に躍つてゐる一端を覗ふ事が出來ると思ふ。かくの如く、改良主義者と戰つて、自から尖鋭化せんとするものに對しては友誼的立場より、これが助長援助する事が左翼の戰術でなくてはならぬ。殊に青年運動においては、最もこの點を考ふべきである。生ぶ聲をあげた許りで、未だ海のものとも、山のものとも知れぬものに對して、これは我々の敵であると早合點し、それと飽く迄對立抗爭をした事は從來の極左の人々の採つて來た態度であり、それがために甚だしき戰線運動の上に損失を成した。新無產青年同盟は過去の闘爭經驗より特にこの點に留意しなくてはならぬ。

三

新無產青年同盟、社會青年同盟は、その對立を利用して、批判を徹底に終つた。全國勞農青年同盟は以前一寸觸れておいた如く、三つの青年同盟に對する日本無產青年同盟の特殊的存在を要點として批判する事によつて、日本無產青年同盟の存在の意義と役割を述べる事とする。日本無產青年同盟は政黨中立の立場にある事をもつて、その存在理由となし、それによつて特殊的役割の遂行を期してゐる。何故に政黨に對して中立の立場を取り、分立する青年同盟準備會の中に生れて來たか？これは青年同盟と政黨、組合との關係を明かに成し、勞農戰線の統一に對する青年同盟の任務を規定する。青年運動が階級運動の一翼であり、強力なる政黨の下に於てのみ、青年運動も有效に展開されて來る事は謂ふ迄もない事である。然し乍ら現在日本における如き政黨の分立してゐる時にあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つては政黨の指導の下に強力な青年運動の展開は望まれぬと同時に、その政黨のために多くの制肘をこそ加へられる。現に結成を急ぎつゝある三つの青年同盟準備會は各自政黨の下に結集し、その指導の下に闘爭を開始したるがために、同一目標に進むものが四つの異つたスタートに立つ事となつたのである。自黨支持團體の青年を獲得する事は、

（一）政黨、組合に組織された意識分子を結合せしめるため、組織が容易である。（二）青年同盟の結成を營まぬ組合、政黨幹部、成年勞働者も自黨指導精神の下に固定化するために寛大であり得る。（三）青年同盟は政黨の指導下に闘爭すべきであると云ふ公式理論にあてはまるが故に、公式主義者は自己滿足をする。

以上の理由によつて、三つの青年同盟は、三つの青年同盟準備會を必要とし、その結成に努めてゐる。

最も容易の道を求めて、結成されんとする青年同盟はその目標に到達する迄に、現在通過するよりも數倍した努力を必要とするイバラの道を通過しなくてはならぬ。それは如何なる道か。（一）、封建的優越感の保持者たる政黨、組合の幹部、成年勞働者は、自己の指導によつて發展せんとする青年同盟に對して、これを壓迫し、頬ソリする代りに、これが壓殺を企てる。（二）、例へ成立しても自黨の下に固定化せしめんとする。（三）そのために、統一を欲して生れたものも對立關係を生じ現在の政黨、組合の二の舞をする危險性がある。（四）この弱點を利用して幹部に追隨し、分裂のまゝ存續せしめんとする機會主義者が出現する。斯くして政黨の下に生れ、政黨の指導の下に發展せんとする青年同盟は容易なる道を選べるが故に、自からの目的は遠く彼方に押しやられて終ふ。その現れは既に新青年同盟において見る事が出來るのである。この危險性を未然に防衛し、たゞ政黨中立の立場にありて、この再建への道を正しく歩む日本無産青年同盟はこの故に、その存在の根本的理由がある政黨中立の立場こそ單一大衆青年同盟の結成を最も急速に進める事を確信するものである。勿論各青年同盟の構成員の多くに、各政黨員であり、そのために政黨、組合幹部の壓迫はあり、黨内青年分子の意識水準の低きもの幹部追隨の機會主義者の動員は、中々容易ではない。たゞこの困難の道を突破した時、始めて日本の青年運動も正しき軌道を走つて行く事が出來る。

四

日本無産青年同盟は、政黨下に組織されんとする青年同盟に對して、その誤謬なる事を指摘し、政黨中立の立場を採るべき事を強要する。勿論この存在理由が一般的に不可避の事實として、認識される迄は、支配階級の壓迫と戰ふのみでなく、封建的優越感を保持せる組合、政黨幹部の二重の迫害を受けるであらう事を豫測される。然しながら、我が日本無産青年同盟は、斷乎たる決意の下に、勇敢にこの苦難の道を進んで行く。目前の安易の道を求めて、百年の大計を忘却するものは、階級戰士として長い苦難の闘爭を續ける事は出來ない。凡ての青年同盟が政黨中立の立場にあつて單一大衆青年同盟を結成した時において初めてその大衆的威力をもつて、勞農戰線の統一も具體化する事が出來る。單一大衆黨の出現した時、青年同盟もその大衆的單一行動黨の指導の下に勇敢なる闘爭を展開して行く事が出來る。分立せる青年同盟の統一を當面の目的として、そのための戰術をもつて結成されんとする日本無産青年同盟は、この過渡的現象に對しての存在の意義を極度に發揮して、勇敢にその任務を遂行して行くであらう。

社告

進めを全國の勞働者農民の手に渡せ

大至急支局を確立せよ

經濟的壓迫と戰ひつゝ眞に大衆のための戰鬪誌としての使命を果して來た「進め」は、ブルヂョア階級の彈壓の兇刃に倒れ行くプロレタリア雜誌の中に二十一回の發禁處分にも屈せず、六ケ年の輝ける闘爭歴を保持して來た。進めは今や完全に大衆の中に喰入つた。たが更にこの闘爭を進展せしめ、全國的に勞働者農民の凡ての人々を讀者にしなくてはならぬ全國的に讀者網を張り廻し、レポートの山を築いて進めの誌面の充實を圖らなくてはならぬ。

進め讀者は、直ちに讀者倍加運動を全國的に捲起せ大至急支局を確立せよ、支局規定書を請求せよ支局に對しては、本社は充分なる經濟的便宜を與ふるものだ。

進め社本部研究會

東京地方讀者をもつて組織する、本部研究會は十一月は十九日夜、三輪壽壯氏を招いて座談會を開いた。

來る十二月一日午後六時から研究會だ

講師は高橋龜吉氏か或ひは日勞黨調査部長淸水武雄氏、問題時局經濟問題、何人を問はぬ進め社本部におしかけろ。研究會座談會出席希望者は葉書で申込んでおかれたい。その都度御通知します。

進め讀者の會

「進め讀者の會」は、各地に於ける進め讀者によつて構成して、研究會、座談會を開きて、プロレタリア敎化を成す傍ら、レポートを送る事によつて闘爭の聯絡機關とするものだ。直ちに進め讀者の會を創設し、創設責任者はその姓名を本部に通知せよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

生命と引き換への警察官救慰基金……布施辰治
化けそこねた三土藏相……佐々木敬三
玉碎主義を打破れアルベール・トーマ來る……羽田光雄

生命と引き換への警察官救慰基金

階級闘争の激化に伴ふ警察官の任務が益々露骨に資本家地主階級の××振りを發揮するのが、あまりにも當然な警察官本來の發展なのではありませう。たが、所謂高等警察網擴充以來の無産者運動彈壓に忠勤を拔んずる×××××振り、殆んど言語に絶するものがあります。

夫れかあらぬか、資本家地主政府によつて警察官憲の優遇問題が提案せられるのみでなく、一般の無自覺な民衆の間にも之を支持させやうとする種々の策動が切りに行はれて居ます。その一つの現はれの最も著しいものは、此度の警察官救慰基金問題です。

たが然し、警察官憲が階級闘争の激化に伴ふて重加せられる階級的任務は、到底僅の増俸や、その他の優遇や無自覺な民衆の或る者から時々百圓札を投込む救慰基金位で埋め合せられる譯のものではありません。彼の大阪のピス事件や、最近の所謂ピス平事件に見られるが如く警察官に何の怨恨のあつたわけでもないものが、一寸したはづみに自分の復讐を邪魔立てをする警察官を射殺すると云ふやうな事もあるのです。又、所謂共産黨事件關係者逮捕のために淺草の某家を襲ふた警察官が狙撃せられたと云ふやうな事件もあります。さうした事を考へたら、自分自身無産者の子弟であり乍ら、就職難の爲め迷ひ込んだ警察官が、雀の涙ほどの増俸や救慰金にごまかされて、その同じ無産者の親兄弟を○○○○資本家地主の人垣になる階級的任務の愚劣さを、何人も哂笑せずには居られないでせうにも拘らず、彼等警察官はさうした立場を知つてか知らないでか—おそらくは種々なる宣傳煽動によつて、自分等が無産者の子弟であると云ふ階級的立場を悟られないやうに、それ撃劍だ、柔道だ、競技だ懸賞だといふて警察官の階級的任務を幻想せしめられて居る彼等は、何割の増俸よりも眞先に警察官の増俸が行はれると云ふことに、いい氣な陶醉を食つて居るらしいのです。のみならず、階級闘争の激化に伴ふ無産階級運動の彈壓がいよいよ反動化し兇暴化した所謂治安維持法違反の重刑を擬されて居る被告達をつかまへるとさも大手柄でもしたつもりで居るのですが、死刑や無期の重罰を以て捕へられたが最後、生きては獄れないといふことになればそうした被告達の逮捕が命がけになつて行くといふ一事だけを考へても、無産階級運動彈壓の重罰酷刑が彼等警察官にとつて、喜ぶべき事であるか、戰慄すべき事であるかがわかるでせう。そして、そうした命がけの逮捕檢擧を僅ばかりの涙金で重加せられて行く自分等の馬鹿さかげんを、多少なりとも自覺し得ない筈はないでせう。

殊に、警察官の増員が所謂高等警察網の擴充と共に非常な多數に上つて來て居る今日、假りに百萬圓の救慰基金が集まつたところでそんなものは、おそらく勸業銀行の當り率には當りますまい。でも勸業銀行の當り籤は、五圓か十圓のところで、當れば得、當らなくとも損のない仕組になつて居るからいいが、警察官の救慰基金は、其の當り籤をかけがへのない命を的にしなければ引き當てられない代物なのです。然も、從來、飛行將校や戰時決死隊員の命を的に引き當てた救慰基金が未亡人の若い燕に入れ揚げるか、或は遺族間の爭奪騒ぎに醜み薜いた例が腐の山であることを考へたら、今日の警察官たるものは、少しは考へるところがあつてよからう。

（布施辰治）

化けそこねた三土藏相

昭和二年度の豫算は議會の審議日數不足のため不成立となつた故去る十月卅日の閣議で決定した昭和三年度豫算こそ實質的には政友會内閣の手に成つた最初の豫算といふべきである。豫算編成の局に當る三土忠造は、如何なる知恵を絞つたかは知らぬが、如何に多くを國民より貢税させ如何に多くを支配階級——ブルヂョアに献納しやうとして居るかの本質を誤魔化し得るものではない。新豫算總額は十七億五千二百萬圓であるが、歳入の方面から眺めると階級國家の特質である支配階級の被支配階級に對する生存許可の貢物としての税から、その大部分は成立つてゐる。來年度の如く財源に乏しく而も多年所信の手前、積極政策も萬更知らぬ顔の半兵衛が出來ぬ上は木材關税の値上げを行ひ、我無産階級の家賃を引上げて切抜けをさし、所得税法を改正して増収を見込んだりする。所得税法の改正は、中産階級の所得に課税率を高めるのだが、ブルヂョアの所得には一向手も觸れはしない。その上一億九千萬圓の公債を發行してやがて無産階級の負債に肩がはりせしめ、更に昭和十二年度までの膨大な公債發行の計劃まで作成した三土藏相に無産階級は何を以て答酬すべきであらうか。

不景氣による歳入減少や、積極政策に祟られる以外、三土藏相は更に營業收益税及び地租移譲の公約に惱まされた。地方税へのこの兩税の移讓は一億二千八百萬圓の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

減收となり、歳入の骨幹たる租税體系の大動揺であり、遂に例年不時の支出に備へる剰餘金を殆んど計上せず、はては郵便貯金を預金部より融通して收入に充てる有様である。餓鬼の如く財源を捜し求めた三土藏相よ。何故、相續税、資本課税、大所得に對する税等の改正を行はぬか。

歳出を一見すると、社會政策費なんて、鼻糞程も計上してない。實業同志會合流の條件は、新税又は増税による社會政策の多少なりの實現であつた。實同の主張は、結局、他人の褌で相撲をとる類に過ぎず、その手品の種は餘りにもたらしないが、商工業資本の要求としては御尤もな話である。併し金融資本と無二の親友であり其の代表者たる政友會内閣は鼻も引つかけはしない。金融資本家のために、我等無産階級の血税を分配し更に血税の再生産のために放下してゐる。有難き極みではないか。にも關らず、鼻息の荒くなつた金融資本家共は、この豫算が彼等の堅明した金解禁促進の要求に不忠實であると公然罵つてゐる。

我等無産階級は「搾取され得る權利」を、直接税間接税——即ち征伏者に獻げる貢物の變形により確認されてゐる。かゝるとんでもない權利と、その保證制度とを一蹴せよ。そはたゞ××に依る以外に道はない。されば來るべき議會に於ける無産黨議員團に對するに豫算の正體を暴露し、三土藏相をして完全に化石たらしめ、新豫算否認否決に至らしめんことを以てする。

（佐々木敬三）

玉砕主義を打破れ

新黨準備會の結黨方針は玉砕主義だといふ事だが、それは、正にかの解散後唱へられた「合法政黨必要ない主義」の延長であつて吾々無産階級にとつては益なき事であらねばならぬ。では何故に、

一、これこそ、最惡の小兒病的英雄主義である。大山、細迫等が引つ込みをつける爲めに、最後の花を華々しくかざらしめ様とするにある。一二の幹部の出所進退の名分の爲めに、全黨員をまき添へに食はせる事様、非階級的な事はない。

二、無産大衆黨の結成に向つて、官許黨の罵聲を投げかけた手前どうしても玉砕主義を取らねばならぬとするならば、これも、自己の誤謬を永遠化せんとする最も不眞面目な態度である。

三、玉砕主義の結黨方針こそ、正に官憲により以上の彈壓の口實を與へるものであり、彈壓をより強化せしめるものである。この爲め合法政黨再建がより至難になる。

四、玉砕主義は、どれだけ無産階級の陣營を强める事が出來るかといふ問題についても遺憾乍ら、吾々は百害あつて一利なきものであると考へる。

吾人は、かゝる英雄主義・小兒病的態度をもつ新黨準備會を悲しむ。否、より大きく日本の無産階級の爲めに悲しむ。

支配階級の恐るゝものは、玉砕主義ではなく、解散、彈壓の口實を見出す事の出來ぬ〇〇的合法政黨である。玉砕主義こそ正に支配階級の北叟笑む所である。新黨準備會の取つて來た態度はすでに、克服されたものである。されば、彼等も結黨にまで邁進したのだ。然るに、その結黨が、再び玉砕主義だと聞いて、吾人は、彼等の小兒病の徹底に驚かざるを得ない。

其の他の政黨は官許黨であるが新黨の合法性要求は、官許黨ではない、支配階級を恐怖させて否應なしに、とるものだなどゝいふ子供欺しの結黨論は止めて、眞に無産政黨を意義あらしめる結黨方針の正道に立ち返れ。無産大衆は、この英雄主義イデオロギーに囚はれた玉砕主義を打破らねばならぬ。飽くまで結黨へ邁進せよ。

（羽田光雄）

アルベール、トーマ來る

來る十二月五日、國際勞働局長アルベール、トーマ日本の土を踏む。

トーマ來るの報一度傳はるや、日本社會運動の陣營は一せいにざわめいた。社會民衆黨を盟主とする右翼は、親分アルベール、トーマをして、日本政府及び資本家に對して、國際勞働會議の成果である、社會政策の實施化を要求せしめ、以て鈴木文治氏米窪滿亮氏がはるばる國際勞働會議に行く理由を日本の勞働者にたゝき込まうと考へ同時にこれを機會に、トーマの肝入で大右翼結成を成就せしめんとしてゐる。

十一月廿日の日本民衆新聞は、「トーマ氏選の來朝に、政府資本家大狼狽工場視察を妨害せんとす」と三段拔きの大見出しで書きたて、續けて曰く

「彼等は（日本政府・資本家）毎年の國際勞働會議で大きなことを云つて置きながら、また勞働組合法すら制定してゐない。岡谷、野田其の他の爭議彈壓團結權の蹂躙或ひは全產業にわたる勞働者の奴隸的酷使、設備の不完全等々がトーマ氏の來朝によつて暴露されるからだ。聞くところによれば、右翼各勞働組合はトーマ氏をして岡谷、及び九州の諸炭坑を視察せしめるとの事である。之を恐れた政府や資本家は徹底的の妨害をなし、くだらぬ儀禮や歡迎攻めをもつて滯在日程に餘裕なからしめんとしてゐる。」ともちあげてゐる

同時に同紙は、

「今回のアルベール・トーマ氏來朝を機として「勞働立法促進委員會」の名の下に事實上の右翼聯盟を實現せんとしてゐる。我々は共產派のあらゆる中傷讒誣に堪えて來た。而し今こそわれ等多年の要望實現の日が近づいたのだ。」

と大右翼聯盟のデツチ上げに[illegible]してゐる。

一方新黨準備會、及び無產大衆黨の機關紙は全紙を擧げて、「國際的ダラ幹トーマを葬れ、トーマを上陸させるな」と大みだしで書きたてゝゐる。日本勞農新聞の十一月廿五日號には、この事件は少しも書いてゐないが・總聯合及び組合

同盟事はトーマを招いて國々國際労働會議の本質を質問するとの事である。

吾等は、アルベール、トーマの來朝によつて勢ひづくところの大右翼結成を克服しなければならない。即ち、日本労働總同盟の關西派の進歩的大衆との固き提携をもつて、無産戦線の分裂を永久化しめんとする行動を牽制し、あくまで單一無産政黨に労働組合の合一へ向つて邁進しなければならない。

否、アルベール、トーマの肝入りがなければ進展しない様な大右翼結成は、その事自身がすでに大衆の要望がその結成を必然ならしめてゐるものでない事を物語るものである。何故ならば、大衆が眞にそれを求めてゐるならば、大右翼結成はアルベール、トーマの肝入りの前にさんざん進行してゐた事であらうから。

右翼幹部笛吹けども大衆躍らず

アルベール、トーマそも何する者ぞ。彼の來朝や、最小限度の改良主義すら、尚拒否する日本政府資本家の多少なるはにかみと、資本主義の行詰りは此處にもあるかとの多少の感慨を土産として返らんのみ。

（十一月二十七日）

時事日誌

自十月二十二日
至十一月二十四日

十月二十二日（月）
東京市の冬期失業者救濟事業豫算百四十万圓、名簿登録人員一万九千人
支那國民政府は爾後訓政期に入る旨を宣言す

同月二十三日（火）
英佛海軍協定案は秘密とせられしも華府軍縮會議議定に反すとの議論起り遂に内容發表さる

同月二十四日（水）
新黨準備會代表者會議は今日より二日間、開催、日勞黨との合同促進を決議し、十二月に結黨すべき旨聲明す

同月二十五日（木）
九州八幡市の選擧區改定は許可され小選擧區制となる
佛國パリ郊外に於て共産黨の示威運動あり千二百名逮捕さる

同月二十七日（土）
明年度豫算の査定略議終る

同月卅日（火）
大阪に於る社民黨、總同盟其他同系の團體代表者六十余名、日勞黨との合同提唱を決議す
明年度豫算は十七億八千萬圓余と決定す

拾一月一日（木）
支那中央銀行開業
獨乙ミュンヘン、グラッドバッハ等の紡績織物職工は賃銀一割五分五厘値上を要求し、工場閉鎖され、この運動は漸々他地方に波及する傾向あり。西獨乙織物労働者は賃銀問題に對する仲裁々判に服せず廿二万人工場閉鎖

同月六日（火）
佛國ポアンカレー聯合内閣瓦解 原因は同内閣支持の急進黨が議會提出中の財政案中の宗教保護の法案に反對し且つ最小限軍事豫案及び常備制度を要求し、同黨出閣僚エリオ以下四名の辭職を見たるに因てなり
米國大統領選擧は共和黨候補フーヴァー壓倒的多數を以て勝つ

同月七日（水）
露西亜革命第十一回記念日

同月十日（土）
即位式
羅馬尼農民黨、内閣を組織す
約一ケ月に亘る東京製靴爭議勝利解決

同月十一日（日）
佛國前首相ポアンカレーは社會黨急進黨を除外せる右派聯合内閣を組織す

同月十三日（火）
大阪に於て三土藏相は適當の時期に金解禁斷行を聲明す
米作第二回收穫豫想五千九百万石、第一回より六十萬石減

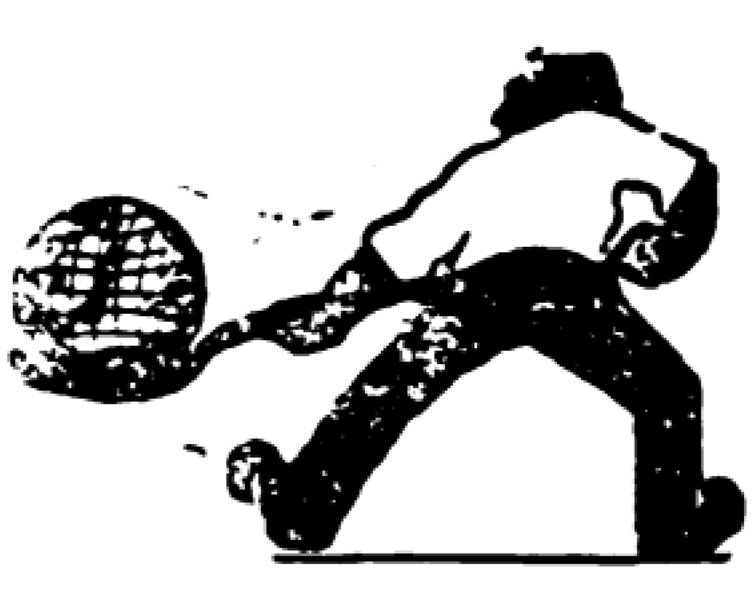
同月十六日（金）
久原遞相の手により憲政一新會政友會との提携を聲明し、政府與黨絶對多數となる

同月十七日（土）
新黨倶樂部も政友會と對支問題に就き合流す

同月二十二日（木）
札幌地方共産黨公判決定

同月二十四日（土）
支那國民政府は日支交渉對策として排日貨令を全國に發す

喜言苦言



■十一月八日、日勞黨東京支部の懇親會も終つた頃、愛媛の〇君が顔から血を流して二階からおりて來たので、心配して聞くと、「俺が書記長を今度の選擧の時愛媛から立てると云つたら、〇〇の奴馬鹿な事を云へ、書記長は足尾で立てるんだと、なぐりつけやがつた」と大憤慨。麻生書記長「どうも僕は有難いけれども、喧嘩ぢや困る」と苦笑ひ。

■〇〇で無産黨代議士連の喜悲劇新聞に紹介さる、日勞黨の〇君「内のピカ一は一つも出てゐないね、内のピカ一は新聞宣傳なんか眼中にないからね。こつそり、かくれる樣に行つたらしい。」「いや、圓タクで行つたのだ。」と〇君、新黨準備會の輝けるマルキスト、水谷、山本の諸氏に優ること數等、惜しむべし、水谷山本氏と共に大山、細迫代議士の悲喜劇のあらざりしを。

■たより無きは、日勞黨の出版能力なり。先にプロレタリヤを發行し初號廢刊となつた事は今尚世人の記憶に新なる所である。然るに、十一月創刊の「大衆時代」又危し。人曰く「二號も危い。三號廢刊は確實だ」と。日勞黨幹部たるもの少しは體面を考へよ。こんな事では何時迄たつても他黨に馬鹿にされるのだ。三號雜誌は出さざるに劣る。然し、某氏の云ふが如く「單行本」と云ふならよからん。雜誌の名を即時削るべし敢て苦言を呈す。

■日勞新聞、十二月號より月三回を宣言して曰く

「やる氣なら、何でもやれる！見ろ新聞は今後三回確實に出せるやうになつた。」と然らば、今迄は新聞なんかやるつもりでなかつたらしい。こんな言葉は止めてくれ。こんな下らぬ事を云ふから、何時迄經つても馬鹿にされるのだ。しかし、三回ぐらひ是非出せる樣に祈る。黨員にとつて元氣の無い黨はさびしいからね。

■それはそうさ、日勞新聞は支持團體でも金を出さねば廣告はせぬと云ふ。こんな事を云ふから、黨が發展しないのだ。新聞に金が集まらぬのだ。その點では新黨は流石にえらかつた。彼等は否でも應でも支持團體にあらゆる方面で一生懸命やらせる樣に煽てゝゐた。

日勞新聞の營業的態度に腹を立てゝゐるものは、敢て「進め」だけでもあるまい。

單一無產政黨結成を目標とする合同論の行詰りとその清算

板垣艮一

私は本誌十一月號にて自然發生的な單一無產政黨の結成が事實上、客觀的條件から不可能なる事を粗雜的に逃べ眞に大衆の間に高まり來つた合同論を階級的一大大衆黨の結成へと進むべきである事を強調した。私は更に進んで最近の客觀的狀態から單一無產政黨の結成を目標とする合同論の行衛を淸算し、一大階級的大衆黨の結成を目標して合同論の巨步を押進めて行く。

一、單一無產政黨論の批判

（イ）自然發生的の合同論

合同の呼聲！戰線の統一の要望が大衆の間に勃興し初めたのは昨年の府縣會選擧戰の結果からである。各黨結黨以來續け來た對立鬪爭は遂に選擧協定の戰術も突破して、同志相組み打ちて遭遇戰の結果は、大衆の豫想を裏切つて（特に左翼陣營の）全國的慘敗を事實の上に見せつけられた。此の實證に適應して起るものは、對立鬪爭の嫌惡と同時に全階級的の意識の高揚であつた。こゝに根ざして、單一無產政黨の合同論は出發したのである。即ち時の狀勢が大衆をして、自然發生的に合同論も叫はすに至つた。殊に左翼陣營内に於て。

此の合同論は積年の對立鬪爭に嫌惡して居た大衆の間を席捲し且つ浸潤し強力なる勢力となつて表れ、それが普選を通じ一層、此の合同論は重要性を帶びるに至つた當時此の合同論に反對し回避するものは、悉く裏切者であり、反動化したものであり、ダカ幹の刻印は押れて行つた。

所の如くして燎原の火の如く廣まり且つ高まり行つた單一無產政黨論は各黨、及支持團體間に於いて幾多の曲折を通じて、それは遂に具體的實行に移すべき政策、手段を取らねばならなくなつたにも拘らず、各黨、各派は徒に世間的な又、大會的な決議、聲明、を發して、眞に大衆の要望する單一無產政黨の結成には何等の具體的な實行に移されずして、今日に至つた。

（ロ）問題の提出

單一無產政黨の結成！この呼聲には何等反對すべき論據なく、誠にその結成は望ましい事であり、成し遂げねばならぬ、客觀的な、意識的な要求である。たが今日の各黨の狀勢ではそれは短兵急に出來得ない合同論として體裁よく取扱はれて、大衆の要望は日々に裏切られて行つた形を取つた。それは何故か、何故に大衆の前衛である城塞である黨が、それを廻避して（可能な範圍でと云ふ如く）高まり來つた合同論を彼方に押しやらねばならないか。

それは云ふ迄もなく結黨以來、深く刻まれ、且つ反目し合つた對立鬪爭の土臺！即ち、各黨的認識の相異に基礎を置く指導精神？又は理論の結果である。從つて今日の狀勢では此の指導理論（精神）を各黨が階級的立場から、支配階級の強壓を前にいや（左右、中間、地方政黨を含む）全國的單一無產政黨結成の爲めに問題にせない事にならなければ今日、單一黨の結成は斷じて出來得ないのではないか。幹部と大衆が切離す事も今日では小兒戲しであるし、又指導理論が黨の幹部の頭に依つて造られてゐない黨は、自分等の客觀的な認識の正しい事を強調して、仲々大衆が承知すまいし、結局、單一黨の結成は事實上、各黨の客觀的な狀勢がその「結成」を遠き彼方に押しやつたのだ。然らば、大衆は、經濟上、政治上思想上、日々にヒシ〳〵と迫り來る資本の攻勢と反動政治の暴壓に對抗し得る強力なる大衆黨！大衆の手となり足となり、忠實に勇敢に且卒直に活動し得る一大階級的政黨の結成を望んでゐる。吾等は此の黨の結成を目標して、今日まで押し進められ、高く叫ばれて來た合同論をして具體的な實行運動に這入る事が今日の狀勢に於ける無產政黨合同論の進み行く途ではなからうか。

單一政黨は望ましい事であり、成し遂げねばならぬ事ではあるが、今日それが事實上、机上の空論として終らんとする觀ある時、吾等は勇敢に、その行詰りを打開して現下の狀勢に適合し得る實力ある大衆黨の結成に進むべきではあるまいか？

二、現下の各黨の狀勢

（イ）無產大衆黨の合同論

無產大衆黨は結黨以來、單一無產政黨の結成を高く叫んで來、現在、尚且つ、只獨り單一黨の結成を叫んでゐる。吾等は此の黨が叫ぶ單一黨結成論は大衆の支持と人氣を集める政策である事を見拔かねばならぬ。此の黨の單一黨結成論なるものは實に甘く合理化されて如何にも穴を見つけるに困難な程に筋途と戰略、戰術が用ひられてゐる。が併し、此の黨の獨身は「大衆の強力なる支持がなきこと、及び左翼黨の右翼として新黨準備會と對立してゐる事」が合同論の上にも極めて心細い足跡しか殘し得ない。此の黨の指導的論客山川均氏は勞農十月號にて「無產大衆黨が出現した事に依つて戰線が統一に導かれ合同論が進展したと言つて大衆黨の出現の意氣を禮賛してゐる」が誠に申分のない禮賛の言葉である。丁度牧師

が信者の實際的生活を考へずに只神の有難さと神秘力を解き聞かすのと同じ誑法である。

誠に我が子は馬鹿でも賢く見ゆるは親の慈愛である。大衆黨の存續する限り山川氏の黨に對する溺愛は續く事であらう。

たが事實は非常に相異する！大衆黨の出現に依つて、一層戰線は混亂した事は事實だ！新黨對、大衆黨、大衆黨對日勞黨の如き幾多の波瀾を捲起した事は世間周知の事實である。而一、大衆黨の出現が戰線統一に助力したとて、それは只客觀的な狀勢が大衆黨をして行わしめたに過ぎぬ程度のものである。

斯く論じ來ると大衆黨の合同論の呼聲は、誠に人氣取的であるし又心細い事である。更に大衆黨の合同問題に關する指令では「合同の時期は年內に於いて實現せなければならぬと云ふ」全國的單一無産政黨が年內に結成される。それは誠に望ましい事である、が併しその確信があるか？若し、なければ大衆をエビで鯛つる式の欺瞞政策である。更に又「可能なる範圍に於ける順次的合同をなすといふ」實に何黨と合同が可能なのか、「可能な範圍」なといふ事は單一成立を彼方に押しやつた理論である。從つて大衆黨の單一黨結成の合同論も結局行詰る今少し、客觀的條件を批判するのが至當だがそれは紙數の都合やらない。

（ロ）新黨準備會の內在的矛盾の理論と實踐――それに基く合同論

新黨準備會は自から絶叫する樣に輝けるレーニズムを指導精神とする政黨であり、その構成幹部はそれを意識して他から見ると非唯物論的な樣に見ゆる程にレーニズムを信奉して實踐に望んだ黨である。從つてその行動は戰鬪的である革命的であり行動的である、その事は必然的に大衆の自然發生的な要求を滿足さすに非ずして抹殺する事が多い事を實踐に示した。その結果から大衆の眞の底力ある支持となくして少數の前衛分子の意識的な支持であつた事は幾多の戰線に於ける戰績が實證してゐる。

此の事からして吾等は新黨準備會が理論と實踐の上に於ける內在的矛盾を持つてゐる事を見逃してはならぬ。それは幾多の苦鬪から淸算され整理されてゐると云ふかも知れないが今日の狀勢では以然として理論と實踐に於ける矛盾、卽ち前衛黨か大衆行動黨かの岐路に立つてゐる。從つて新黨準備會が過去に掲げて來た合同論は戰鬪的レーニズムの上に立つた、言葉を代へれば左翼精神を中心としての合同論であると同時に今日尚、以然としてその立場から合同論を主張してゐる。その具體的證明は日勞黨との合同論である。が併し、やはり以然として前衛黨か大衆行動黨かの決定を明確にせない限り、此の合同論は行詰る。勿論、大衆の日常鬪爭を通じて、合同の推進力を中央に押進めると云ふかも知れぬが、大衆は幹部の指導下にある。大衆が指導幹部を捨てない限り具體的に大衆同志の握手が全國的な合同へ進む事は實質的に不可能である。であるからとて大衆黨の日常鬪爭を通じて合同論を押進める事に反對してゐるのではないのだ。たた「急がば廻れ式」の合同論であるといふのだ。

（ハ）社民黨の右翼結成の批判

社民黨の中央幹部が極力主張する右翼結成は、現下の各黨間に重要視され、これが批判と克服に努力される程「右翼結成」は問題となつてゐる。たが吾等は左翼の人々が云ふ如く「右翼結成」をせない前からそれが支配階級への階級的隷屬である如く考へてはゐない。現在の如く戰線が分裂して各々相組み打ちしてゐる現狀では敵の強力なる攻勢！壓迫に對抗出來得ない事は、常識で分つてゐる。吾等が此の攻勢と壓迫に對抗し得る爲には一歩〱々々と鬪爭力を強め味方の陣營を擴大する上からしても更に階級鬪爭の戰線へ未だ馳せ參じ得ない右翼團體が存在してゐることを併考した場合、「右翼結成」は反動への合理化であり、排擊すべきものであるとして簡單に左翼的指導理論の立場から淸算し壓殺することは前衛黨面の任務でないと考へる。何故なれば右翼に對する眞のマルクス主義の立場は、右翼の陣營內にあつて陣營を尖銳化することであり、發展さす事であるからだ。

卽ち階級的水準を下げるに非ずして、右翼的指導理論の下にある大衆を階級的水準まで引き出し、發展さす事である。幸にして、「右翼結成」に包擁されんとする團體は、日常その余剩生産に酷使されてゐる、プロレタリア層である。これ等の大衆はその生活條件から必然に社會民主々義の甘い夢に惑わされる事を拒否し發展する大衆である。從つて吾等は今日大なる決意と希望を持つて「右翼結成」といふ妥協的な誤謬的な言葉に捕はれることなく、眞實、一大大衆黨結成の爲めに右翼結成をして階級的立場まで發展さすことが吾等の任務である。マルクス主義の明確なる理論に基く政策は凡ゆる問題凡ゆる困難な渦中にあつてその進み行く方針を誤らず、一歩〱々々階級的發展に直進する。

如何に社民の幹部が意識的に反動化を計畫し、鬪爭を回避しても、大衆の强力なる合同への前進は、社會民主主義に基礎を置く現實的可能論では喰ひ止める事は出來ない。吾等は眞の階級的一大大衆黨結成の爲めに凡ゆる困難を克服して、各黨の持つ內在的矛盾を解決して發展に導く事に努力するであらう。それが現下の客觀的狀勢に適應せる合同論者の任務であり成し遂げなければならぬ役割である。されば全國の同志諸君よ！滿身創傷を受けて戰ひ拔いて來た合同論を更に具體的に實行する爲に強力なる握手と合同への巨步を進めようではないか。（一九二七、一一、一〇）

御願ひ 本誌を借つて前後二回に亘つて粗雜に階級的一大大衆黨の結成を提唱しましたこれに對して各方面の熱心なる合同論者の內には相當異論ある事と豫想します何卒直接遠慮なく御質問なり意見を紙上を通じて發表して下さい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會民主主義か共産主義か
我が國社會運動既定の運命

佐藤護郎

現在、無産階級の戰線は無産政黨の分野に依つて區分せられ、左、右、中、の三つに分布されてゐる。卽ち新黨準備會、無産大衆黨、日本勞農黨、社會民衆黨の存在これである。

◆

以上列記した四政黨（內新黨準備會は未結成）の內包する思想並びに運動方針から先づ解剖する。

◆

新黨準備會は極左派として知られ、共産主義を標榜して左翼統一を目標として運動を進めてゐる。

無産大衆黨はその位置左翼に位するが、その運動方針は大衆戰線の統一を目標とし、無産共産主義を標榜する

日本勞農黨は中間派として知られ、運動方針は大衆戰線の統一を目標とし、思想的には共産主義と社會民主主義を包藏する

社會民衆黨は右翼に位し、右翼結成を目標として社會民主主義を標榜する。

◆

以上の如く、我が國の無産政黨の分布並びに客觀的運動狀態は非常に混亂し、現在の儘に於ては發展的片影たもない。併し現在中間派と稱されてゐる日本勞農黨はこの度の擴大中央委員會に於て漸く本質を表白し、その域に達したかの如くにみえた。なほまた、この時期に於て我が國無産政黨の傾向は左翼結成の漸進、右翼結成の急進的傾向を露出するに至つた。

◆

左翼結成の漸進的傾向として具體的に現はれたものゝ中に二種の傾向をみることが出來る。一つは新黨準備會の日勞黨への合同運動、一つは無産大衆黨の日勞黨への合同運動、なほ、日勞黨內部の左翼派、主として全國農民組合側の無産大衆黨への合同的傾向は、一層左翼結成の氣運到來を暗示せしむるものである。

◆

併し新黨準備會の運動目標と無産大衆黨の運動目標には前述の如く差異がある。卽ち左翼結成を明確に指示するものと大衆的政黨を目標として左翼結成を目論むものとである。もしこの斷定、卽ち無産大衆黨の左翼結成意識の斷定を否定したり、或は無産大衆黨一部の連中が、それを否定したりするならば、客觀的情勢に無智な無策をわらはずにはゐられない。それは新黨準備會と相爭つて日勞黨への合同を策してゐる點に於て明かである。

◆

斯くして一方右翼は、中央委員會に於て資本主義を排すると共に共産主義を排することを決議し、明確に社會民主主義の傾向を聲明した。併し、社會民衆黨を支持する最も有力なる團體、日本勞働總同盟內部にはなほ異分子の存在することを見逃すことは出來ない。

◆

それは、本年度總同盟大會に於て明かなる色彩を表現したる如く、關東派と關西派との反目である。この反目は單に松岡派對西尾派の反目に止まらず、その根底には若干の思想的相違を發見することが出來る。それは社會民主主義とファシズムの無意識的若くは有意識的對立である。

◆

現在、總同盟內部には、この思想的對立をおぼろげ乍ら發見することが出來る。卽ち關西派は社會民主主義、關東卽ち松岡駒吉氏一派はファシズム的傾向である。

◆

日勞黨內部の關西派中組合同盟の一派は明かに社會民主主義である。この社會民主主義的傾向は單に關西派及び組合同盟派のみに限らず、雜誌「社會思想」を中心とする本部派はすべてこの傾向に位する。隨つて、日勞黨內部の合同問題を討究するの場合には、思想的には必ず社會民主主義一派にしてやられる。

◆

この日勞黨內部の傾向と、總同盟內部の社會民主主義的傾向と、結びつかうとするのは當然すぎる當然の話しで、少しも不思議はない。たゞ組合同盟の幹部はもと總同盟內部の幹部であつた關係上、合同問題には必ず分裂當時の感情がつきまとうに違ひない。が、併し、この感情は主として松岡駒吉氏に對する感情であつて、總同盟幹部全體に對する感情でない。

◆

されば總同盟關西派の幹部が松岡との反目に依り日勞黨との合同を策し、なほ、社會民主主義とファシズム的傾向との對立との故に日勞黨との合同を策すに於ては、日勞黨舊總同盟幹部は渡りに舟である。何の異論あらうぞ。

◆

この前の日勞黨擴大執行委員會に於て、組合同盟組合長棚橋小虎氏が、無産大衆黨との合同を主張する一派に向つて、大喝、「組合同盟にも覺悟がある」とやつた時一人の討論もなかつた事は日勞黨內部の勢力分布及び思

想分布を間接的に物語つて、面白い現象である。

◆

斯の如く日勞黨の分解的傾向が濃厚となつて來た時右翼は社會民主主義の旗色を鮮明にして（總同盟内部に於けるファシズム的傾向は社會民主主義の明確なる結成の前には飛散する運命を持つてゐる）海員組合、海軍聯盟その他の灰色團體を抱擁して一大勢力を結成して、左翼卽ち共産主義との對抗を明かにするであらう

◆

一方、左翼と稱するものゝ中、無産大衆黨は右翼の、卽ち社會民主主義の戰鬪開始に對して、どこまでも大衆的無産政黨の旗印を樹てゝゐるわけにも行くまい。そんなことをしてゐた日には、日本の無産階級運動はみな社會民主主義の下に結成されるであらう。

◆

そこで、無産大衆黨あたりの任務を、及びその旗色を明かにせねばならぬ事になる。卽ち、右翼對左翼・社會民主主義對、共産主義として、

◆

もし、この左右兩翼の旗色が、斷じて共産主義對社會民主主義の旗色となつて、無産階級陣營内に對立し、采配を振ふことになれは、從來の單なる社會主義と稱せられたる部分の人々も自ら明確に社會民主主義者、共産主義者となるであらう。

◆

その場合に於ける日勞黨の態度等は問題ではない。落つくところに行つて仕舞ふたけのことである。

◆

新黨準備會對無産大衆黨の問題も然り、無産大衆黨は全體的傾向として本來の共産主義に歸着し、内部若干の社會民主主義的分子は淸算されるであらう。新黨準備會と無産大衆黨とは、新黨準備會の結黨と否とにかゝはらず合一される、そして共産主義として戰鬪旗を揭げるであらう。

◆

斯く、日本の無産階級運動を見透せは、解決は簡單である。卽ち右翼と左翼、共産主義と社會民主主義との對立は既定の約束であつて曲論を鬪はす必要等は少しもない。

農民に土地と自由を！

―農民戰線統一への路―

南　三平

■

全國農民組合はその創立大會の決定に基き立禁反對の共同委員會の共同提唱を、中部農民組合に計り、そして此の共同提唱の結果は七月七日、我國の有力なる農民團體の全ての參加を得て、直に全國農民團體會議の結成を見た。その後、同會議は既に五回の委員會を開き、農民戰線に於ける強力なる鬪爭を展開してゐる。

この事實は、農民戰線の統一は先づ何よりも直接に當面せる農民の利害に於てそれの爲の鬪爭を通じてなさる可きことを示唆するものであり、それは「指導者」の政治的見解の差異や或は立場を一切無視してゐる。事實、問題は指導者、幹部、それ等の本部の合同ではなく、農民大衆の結合にある。結合こそは力である。指導者を自任する幹部の有無に關せず、大衆の進む可き路は大衆自身が知得する立禁反對、立毛差押反對、そして完全小作法の獲得は、小作人の生活から生れ出でた血のにじんでゐる絕叫だ。農民の階級的願望だ。

地主は、窮迫せる農民の要求と擡頭を押へつけるために凡ゆる態度を以てのぞむ。就中、最も意圖の露骨にして苛酷なるは、彼等の所有權の牙城から放つ耕地立入禁止の亂發だ。

■

農民團體會議第一回委員會の聲明書に曰ふ「實に小作人が昨日まで血と汗を以て耕作せる土地に對し、一朝にして法律の柵を巡らし、その上に一歩も入ることすら許さない。此の如きは實に何たる暴擧ぞ。小作農民は、云ふまでもなく土地を耕して始めて一家の糊口をなすものである。然るに此の小作人が地主との間に小作料の問題につき紛爭ありと云ひて直にその永年の丹精になる土地を奪ひ刑罰を以て立入禁止をするが如きは全く言語同斷である――」

農民は、斯くして飢餓に突き當る。生活の問題ではない、生命、生存の危殆につき落されるのだ。

此の事實が、耕作權の確立、完全小作法の必要を認得せしめる。地主が所有權を以て襲ふなら、小作人は耕作權を以て、團結權を以て應じ、戰ひ、破るより他ない。

平作だ、豐作だ、の宣傳から、眼のあたり凶作に轉落しつゝある此の秋、今、立禁の嵐は全土を覆ふてゐる。農民の陋屋は、壁落ち、戸は破れ、臥床は寒さに充ち、打ち果てた屋根はわづかに氷雨をしのぐに足りるのみ。

農民の叫びは深刻化する。

俺達に土地と自由を與へろ！

茲に農民の階級的願望があり、階級的結合の紐帶がある。

俺達にパンと土地を、土地と自由を！

こゝに戰線統一への道が開かれる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國農民團體會議は即ち、此の要求のために、此の實踐的闘爭のために結成された。そして「農民大衆共通の問題たる立禁反對のため共同の闘爭を敢行」することを誓つてゐる。

此の共同闘爭を支持しろ！此處から、眞に強力なる大衆の統一が生れるのだ。

（圓）

今、現に、退潮しつつある所謂受難期に處するの途は、凡ての戰線を統一するより他なき事は既に、實行の必要時代になつてゐる。農民戰線の統一が唱へらるること既に久しい。そして巨大なる一歩は全日と日農の合同によつて踏み出されてゐる。一歩の躍進によつて生じた壓力は、そのまゝ偉大なる統一力である。當面可能なる合同を完成せしめることは、その根本に於て決して全戰線統一の支障ではなくして、反對に、統一への進出である。部分的合同と雖も之れは實に一歩の進出のみではなく、より大なる統一力の創造だ。全戰線統一への見透しと確信なくして、たゞそれへの希望の故に部分的或は一方的合同は全的統一の實現を永遠の彼岸に追ひやるものであるとなすは、現在の瞬間に於ける客觀的狀勢に基く技術的行動の現れであり、あらねばならぬものであり、それは、現狀勢の裡に、全戰統一の同時的出現への必然性、從つて具體的なる可能性を認めることなき時には、何れの場合でもノンセンスだ。

統一運動はその特殊的任務たる全組織體の合同と共に、多くの未組織者を獲得す可き一般的任務を有つ。

農民戰線の統一も、組織農民と等しく地主資本家の強度の搾取の下に苦惱しつゝある未組織農民の組織としてその支持を得る時、此の支持を背後に進む時、眞に大衆的基礎の上に確立される。一の合同は全的統一への壓力であり、未組織者の絕へ間なき組織もまた大なる拍車である。

來たれ日本無產青年同盟の旗の下に

日本無產青年同盟準備會

全土の青年諸君

吾々は今、日本無產青年同盟を結成し、その一歩を踏みいださんとしてゐる。何故に、吾等はかゝる運動形態をもたなければならないのか。無產青年の利害は、無產政黨や勞農組合でしつかりとやつてくれるではないか。むろん、無產政黨や勞農組合は無產青年の爲めに戰つてゐる。しかし、政黨や組合にとつては、青年運動は一部であつて全體ではない。青年の特別な任務や仕事をするにはやはり勞農運動の一部としての青年のみの同盟を作り、どしどし仕事をやつて行かねばならないのだ。こゝに、ほんとうの無產階級運動の任務の分擔があるのだ。

青年諸君

諸君は、未來を作るものが誰であるかといふ事を知つてゐるか。それは諸君だ。されはこそ、支配階級は諸君を丸めて自分達の足場にする爲めに、あらゆる反動教育を行つてゐる。青年團を見よ、處女會を見よ。

諸君は元氣盛りの青年である。その元氣盛りの青年を、資本家地主は內に、反動教育を行ひ、外に向つては利權を擴張する戰爭の犧牲に追ひやる。その爲めに、彼等は軍時教育を行ひ青年訓練所を作り、一方、勞働者農民の血稅を搾りたて、軍備の擴張をやつてゐる。一體、戰爭とは何者だ。戰爭の正體は、內外資本家の利益の衝突から起るのだ。無產青年は、戰爭によつて得るものは、〇〇の戰死と、家族の貧困が殘るばかりだ。人間同志が殺し合ふ、これほど悲慘な事はない。こんな戰爭には絕對反對だ。戰爭反對の運動も直接資本家からその任務を強要される青年の先頭に立つてやるべき仕事である。

青年は何等の政治的自由を持たない。吾々は滿十八歲以上の男女の選擧權を獲得しなければならない。これも青年同盟の最重要な任務の一つである。

又、青年は、青年の故に特別的な經濟的搾取を受けてゐる。これに對しても吾々、青年が先頭に立つて戰はねばならぬ。

吾等が青年同盟を作らんとするや、封建的徒弟制度の下にある青年諸君、研究の自由を奪はれつゝある學生の諸君、官僚青年團の先進分子の双手をあげての支持應援の聲があつた。今や、日本無產青年同盟の力強き一歩を踏み出すべき時だ。

全土の青年諸君

現在青年同盟が三つある。日勞黨系の青年同盟、社民黨系の青年同盟、舊勞農黨系の青年同盟以上の三準備會だ。吾々は何故これらの青年同盟の中に更に結成したのか、この問題に答へよう。

以上の三同盟はいづれも政黨の下にある同盟であり、政黨の分裂の爲めに、これらも分裂して生れたわけだ。しかし、無產青年同盟は分裂して存在すべきではない。元來、一つ以外はあつてはならぬものだ。だから、吾々は、政黨の合同を促すと共に、青年同盟の合同も促進せしめねばならない。しかし、政黨の合同は正に至難のものである事を見せつけられてゐる。吾々は政黨の合同は合同として無產青年同盟はお互に少しでも早く合同しようではないかとの意見をもつてゐるものだ。それは、非常にいゝ結果をもたらすものだ。

統一された青年同盟には、一時的には政黨中立の態度をとるより外に道はない。何故ならば、政黨が分裂してゐる現狀においては、各政黨の下に作られた青年同盟が一つにより合つた以上は、どれか一つを支持すると云ふ譯には行かない。

そこで、政黨の合同を促進するといふ決心の下に、一時的に政黨中立をもたねばならない。吾が日本無產青年同盟は、政黨中立を標榜

して生れたものである。そして、各青年同盟を一日も早く統一し、強力な青年同盟を結成し、その力をもつて吾々の特殊な仕事をやつて行かう、同時に、各無産政黨の合同に努力し、一日も早く政黨中立の一時的な態度を改める樣な狀勢を作つて行かう。

全土の青年諸君

眞に青年同盟の正道を歩むものは我が青年同盟をおいて外にないひるむ事なく入會せよ。

綱領

一、吾等は無産階級の解放は階級闘爭によつてのみ達成することを確信し、無産青年獨自の立場より之が實現を期す。

一、吾等は全無産階級の前衛として支配階級の彈壓と搾取に對し勇敢なる闘爭を敢行す。

一、吾等は勞農戰線の統一の爲めに凡ゆる分裂的傾向を克服し大衆的單一無産青年同盟結成に向つて邁進す。

主張草案

政治

一、滿十八歳以上の男女に對する選擧權被選擧權の獲得
二、無産階級抑壓諸法令の撤廢
三、言論、集會、結社、出版の自由
四、檢閲制度の撤廢
五、社會立法の徹底的獲得
(八)
六、健康保險法の徹底的改善
七、失業救濟法の制定
八、軍備縮少と兵役年限の短縮
九、一年志願兵制度の廢止
一〇、警察政治絶對反對
一一、不當カンキン、冤罪による損害國庫負擔
一二、帝國主義的外交の排擊

經濟

一、團結權、罷業權の確立
二、八時間勞働制の實施
三、最低賃銀法の制定
四、立毛差押、立入禁止絶對反對
五、封建的徒弟制度の撤廢
六、自由勞働者の親方制度の撤廢
七、女工幼年工の六時間制の實施
八、女工幼年工の深夜業の廢止
九、青年勞働者に對する差別待遇の廢止

敎育

一、敎育の機會均等
二、義務敎育の國庫負擔
三、軍國主義敎育絶對反對
四、青年訓練所の即時撤廢
五、學校內に於ける軍事教練の廢止
六、無産者的敎育機關の設置
七、學問の自由と學園の學生自治

社會

一、既成青年團、處女會に對する官僚的支配の撤廢
二、兵卒の待遇改善と其の家族の生活の保證
三、服役による解雇絶對反對
四、女工寄宿舍制度の撤廢
五、結婚の自由
六、職業紹介機關の設置
七、朝鮮人の勞働の自由と待遇差別の撤廢
八、水平社に對する差別の撤廢
九、人身賣買の禁止

スローガン

青年に選擧權を與へろ
戰爭の準備と抗爭しろ
官僚青年團を乘取れ
青年勞働を差別するな
無産團體は即時一しよになれ

(所在地芝區南佐久間町二丁目十八番地)

最新社會運動用語

部分的合同

合同問題の進展と共に云はれる樣になつた言葉である。即ち單一無産政黨主義者が、無産黨全部の合同が一時に出來ない狀勢にあるのでまづ可能性のある一部分と一部分の合同でもだんだんにやつて理想を實現せしめ樣といふにある例へば、日勞黨は單一無産政黨主義であるが、社民黨、大衆黨とは一度に出來ぬから何時でも合同の出來る可能性をもつてゐる大衆黨と合同しようといふ樣な主張である。しかし、この部分的合同も仲々出來そうにもない形狀である。

玉碎主義

新黨準備會が十二月に結黨する事になつたがこの結黨方針も政府の解散命令の前に玉碎する覺悟でやらうといふ事から出た言葉である。政府が認めたら、それはもう官許黨だと新黨準備會は云つてゐるから、結黨を眞面目にやらうといふ意志もあるまい。

黃色組合

政府や資本家に依つて作られ、または其の御用をつとめる組合のこと。

機會主義

一貫した理論的根據を持たず狀勢の變化に伴ひ、勝手な理窟を作り勝手な行動を執る主義をいふ。

横斷左翼

合同問題解決のための左翼の一戰術であつて、左右兩翼の各無産團體內の左翼分子の結合をいふ。

合法政黨主義

舊勞農黨解散後、新黨準備會內には闘爭によつて其の組成を支配階級に確認せしめ樣とする論と、一まづ法律の許す範圍で結黨して戰線の統一と擴大を計らうといふ合法政黨主義とがあつた。この兩理論對立は無産大衆黨を生み遂に新黨準備會も前說を棄てるに至つた。

産業の合理化

歐州戰後資本主義國に於ては、勞働の組織機械の配置を變更し、休憩時間を制限し、無産者の失業と病と早老を代償とする新搾取方法の新名である。米國フォード會社に於けるものは其の典型的なも。

團體交涉權

これは、勞働者、對資本家間の問題である。即ち、資本家的生産は勞働者をなるべく搾取しようとする點に基調をおいてゐる。之は如何に人道的口吻をもらしても駄目である。この資本家の態度に對しては到底一人一人の勞働者では極めて勞働者の不利益な條件より獲得することは出來ない。この不利を免かれる爲めには勞働者は團結の力をもたなければならぬ。この團結、即ち勞働組合對、資本家との交涉權の事を云ふ日本においては未だ勞働組合法の制定もないし、大勞働組合は團體交涉權を默認されてはゐるけれども、事實において團體交涉權を獲得してはゐない。吾等に徹底勞働組合法團體交涉權を獲得せねばならない。

大衆的共同戰線黨

共産主義者のみの所謂前衛黨と異なるものであつて、資本主義の客觀的狀勢の下において壓迫されつゝある一切の人民、即ち小市民、小商人、勞働者、俸給生活者自作及び小作農民等の共同利害を代表して戰ふ政黨、現在日本の各無産政黨は皆これである。但し、農民黨の如く、農民ばかりの利害を代表する事を指導精神として居るものは、この大衆的共同戰線黨の資格に欠けるものであろう。

量的統一、質的統一

この言葉も合同問題からおこつたものであつて、最近赤松克麿氏が「量的統一から質的統一へ」なる一論文を發表して問題になつて居る。即ち、赤松氏は單一無産政黨主義は量的統一を強調するもので、即ち共産主義も社會民主主義も一しよにしようとするものである。しかし、かゝる合同論はその明確なる指導精神の對立の故に到底出來得るものではなく、又出來たにしてもやがて分裂の運命を見る。質的統一は之に反して社會民主主義を指導精神とするもののみ合同しようとするものであり、共産主義者は共産主義の下に集れと云ふにあつて、これのみが眞の合同論であると云ふ。この赤松君の合同論即ち質的統一が、大右翼の結成となつて表れて居る。この統一論の可否に就いてはこゝでは述べない。それは餘りに幾多の[illegible]があるであろうから。

地方政黨

全國的政黨に對して用ひられる。即ち、一縣、一郡等を地盤として組織されるもの。日本勞農黨、社會民衆黨、等の全國的政黨に對する千葉勞農黨、信州大衆黨、等々、關西民衆黨、は、系統的に行けば、直ちに全國的政黨に合流すべきものである。地方地方に、ばくち打の繩張りの樣に巣をかけて居たのでは、到底黨員の利害の貫徹に徹底的に戰ふ事は出來ないであらうし、支配階級の攻勢に對抗する事は出來ぬであらう。

米國は何處へ行く

佐々木敬三

一

今や世界の視聽は、歐羅巴亞と資本主義米國とに集中されてゐる。兩者に關する區々の報導は、善かれ惡かれ多小誇大される傾きを免れぬが、何事でも「世界一」を誇りたがる米國人の事とて米國の眞相は却て其の宣傳や空騷ぎの裏にかくれてゐる感がある。今度行はれた大統領選擧戰は全米を擧げてのお祭り騷ぎであつたが、その彼等一流のお祭り騷ぎに惱せられ、日本の新聞紙までお太鼓を叩いて事實の眞相を傳へるに不忠實なのにはあきれる。──無論それでなければブルヂョア新聞の役目は勤まらないが──

米國大統領の選擧は間接投票で十一月六日各州の投票者の選擧が行はれ其の結果共和黨四百五十一名、民主黨八十名と云ふ成績で遂に共和黨の大勝に歸した。形式的にはこれ等の代表投票人が來春ワシントン市に集まり候補者に投票し三月より新大統領就任の順序を踏むのだが、事實既に共和黨が壓倒的勝利を博し、その候補者フーヴアーは次期大統領に決定したのである。從來共和黨は八年間の久しきに亘り大統領の椅子を獨占してきた。米國大統領は佛蘭西などの地位を擁する大統領ではなく、實際に政治外交を指導し處理して行く元首であり實權行使者であるその椅子を過去八ケ年も獨占してきた共和黨が更に今後四ケ年政權を握つて金融政治の大旆をかざして世界支配に突進しやうとしてゐるのだ。民主黨は、嘗て歐州戰爭當時非戰論者、人道主義者たる假面を脫いで戰爭參加を聲明したウイルソン以來、最も人氣ある大衆的空氣を呼吸してゐるスミスを候補者に押立てたが、その政綱に至つては兩黨何等の差違を認め得られない。

共和黨は米國繁昌第一政策の絕對的支持者であつて關稅保護を主張する。民主黨は關稅は自由主義を取るが繁昌第一に變りはない。共和黨は反動的帝國主義的外交を以て中米、南米に臨んでゐるのに民主黨は國際協調主義で多小摩擦が輕減されると云ふ丈の話だ。禁酒法に對する兩黨の態度は前者嚴守で後者が緩和といふに過ぎず、しかも民主黨の主張が通つてもなほ憲法改正を要するから實行至難である。然らば何何の差違が存在するか。關稅問題に關連する農村救濟問題がある。併し此とても、農村大衆の要求に從つて工業資本──從つて其の背後に金融資本──の御機嫌を取り損ねても構はぬのではない。選擧作戰として農村救濟失業者救濟を高唱した民主黨も歷史的に眞實救濟らしい事をした覺えはない筈だしウオール街の金權者に逆らふ程の愚物でもない。

二

共和黨は勝つた。なまじ下手な同情を安賣りしないで。資本主義謳歌、參戰成金で押通した共和黨は勝つた。全米國民の誰もが株券の所有者である指導的資本主義國では、反動的、帝國主義的なもの程結構なのだ。昨年度に於て、年收五百萬弗以上に達する者實に二百八十三名と稱せられ、嘗て歐洲がナポレオン戰後百年間に獲た富を、世界大戰數年間に一擧にして獲得し、中米南米をその半殖民地とする米國は、今や漸く衰亡の素因を內部に孕んでゐる。その素因とは何であらうか。

農村問題と失業問題の內部には過去現在に於ける發展の要素と、將來に於ける沒落の要素とが、包藏されてゐる。農業は全く小資本家の資本家的採算の下に行はれ、未可耕地は四〇パーセントを餘すのみで耕地は粗放な大農的機械によつて痩せはてゝゐる。今後米國の農業は、その都會地附近の蔬菜園藝地の如き集約的にして多量の肥料、從つて多大な資本の投下を必要とする。これが現在でさへ採算の取り兼ねる米國農業資本家の喜んで採用する方法だらうか。千九百二十年から二十五年までの五ケ年に五パーセントの耕地が減小した事でも充分明白だ。資本主義社會に於ける自作農は、大地主なき米國でも最早や沒落の悲しき運命を辿り始めた。その上當然此の農業小企業者達は政治的勢力として結合出來なかつた。工業資本は政權を左右して彼等の都合よき關稅壁を作りあげ、工業資本の發展を便にし遙かならしめたが一方外國輸出の農產物を生產する農民はそのため價格の引下げが行はれねばならず、しかも一般物價は騰貴するので二重に苦しむ。（[illegible]）にも拘らず、加奈陀、アルゼンチンの農業は粗放で、低い價の農產物を供給する。今や米國の農業は、小作問題こそないが、またそれ丈けに漸次へと彷徨してゐるので、これは米國が、資本主義國として一步々成長すればする程大きくなる暗影である。

米國工業の前途はこれ亦、遙からず一定の限界に達せんとしてゐる。米國の富は廣大な地域に埋藏された天然の資源に基いてゐる。米國の急激な發展の速度は、急激な地下埋藏の鑛物發掘の速度と一致する、石油王國たる米國が世界各地の油田戰爭に參加してゐるのは、國內油田の涸渴を意味する。世界大戰の火事泥により、また新設による結果として新しい設備による產業の合理化、機械化による生產力の增大は世界に冠たるものがあるが、このため、四百萬の失業者と、四十才以上の勞働者お斷りの貼札となつた。中米南米への帝國主義外交はやがて從來假面の平和的對支外交をも武斷化し、世界資本主義の沒落への過程へ捲きこまれる。米國の資本主義的繁昌も一過程に過ぎない。米國の勞働者階級と、產業合理化熱にうかされてゐる連中よ、ダンスホールの床が拔けぬ樣御用心御用心。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

投稿

單一無産政黨結成への不可欠條件とは一體何か

本城廣信

階級意識を闡明にして無産者の本來の精神を發揮すべく生れ出でたる各無産政黨は、確かに無産大衆を代表するものであり、徹頭徹尾無産大衆の爲に猛烈なる闘爭を資本家地主に對してなさねばならぬ職責を擔つてゐるのである。而して各無産政黨は無産大衆が基礎とするものであつて無産者の無産黨である事は自ら明白である。して見ると無産黨は決して一部幹部の獨裁主義には斷じて任せてはならぬのである。然るに事實に於ては今日の無産黨は幹部獨裁であつて大衆の其れではない。此所たるや大衆は合同を欲するにも係はらず各無産政黨が合同不可能であると云ふ點に於て明かである。

日本に於ける過去の無産者運動を振り返つて見るに、無産政黨が生れ出た時は、其の實際に於ては單一無産政黨ではないとしても、然し乍ら共同戰線に立つべき當然の運命を充分に擔つてゐたのである。して見ると其の分裂は不自然であつたのである。又其の對立が不自然なのである。此等一切が不自然なればこそ、無産政黨を生み出したる大衆の力が分裂せる對立せる各無産政黨の合同、統一及び共同戰線を急迫に要求するのである。而して此の大衆の力の當然不可缺の要求が妨害してゐるものは、そして合同せざる所以のものは、新興無産階級の勢力ではなくして、其れは實に各無産政黨を現在組織せる者の排他的勢力に相違ないのである。卽ち合同、單一無産政黨結成を力強く要求するのは無産大衆の力であつて、合同及び統一戰線、單一無産政黨の結成を妨害するものは、現在の幹部の地位と其の勢力とである。私は此を強く斷言して憚らない。

×

總同盟が右翼であるとか全國農民組合が左翼であるとか新黨準備會がどうだのとかそんな事はどうでもよいのである右翼とか左翼とか其は其の組合なり政黨なりの幹部の色彩であるとしても斷じて其の大衆の聲であり色彩であるとは云はれない。總同盟の諸君大衆は合同して階級的對立の下に花々しく有産者を打倒さんと考へてゐるのである然るに其を妨害して右翼だから左翼だとは一致せぬ事と大聲せざるの甚だしき言辭を弄してゐるのは唯其の總同盟を牛耳つてゐる一部の專制主義者鈴木文治君松岡駒吉君、西尾末廣君等である。此等二三の幹部が現實主義とか右翼主義とか種々なる言辭を取つて總同盟を色彩る事をやつてゐる

×

然し此の同盟の大衆は「有産者の支配を〇へして無産者の〇〇」たらしめるために、合同を希望してゐるのである。同様に亦、社民黨が大右翼結成主義を高調して無産大衆を意識的にか危地に陷れんとしてゐるのは、決して社民黨の大衆諸君ではないのである。其の憎むべき奴隷は社民黨の幹部である。鈴木君でも、赤松克麿君でも自分が社民黨を牛耳つて社民黨中央執行委員の椅子に戀々と坐つてゐたいがために、無産大衆の當然不可缺の要求を蹂躙してゐるのである。新黨準備會でも全く同様である。無産者の事は理論では知つてゐても實際にはサッパリ知らないところの、而して汽車も二等車でなければ三等車には乘れないといふところの學者大山郁夫氏邊りを黨首にして來るから、無産者の實際上の生活は何の事もないのである。細迫兼光君でも上村進君でも、兎に角坊ちやんには駄目である。彼等は僞瞞的合同とか右翼何々とか云つてゐるけれども、準備會所屬の大衆は一日も早く大合同をなして有産者をブッ倒さんと望んでゐる。

×

斯くの如き有様で今日の各無産黨は大衆の意志を毫も顧みず一切は幹部の專斷でなされてゐる。日勞黨はかなり合同主義であるけれども、愈々左せんか右せんかとなると腐れ根性が出ると見へて、今でも現狀維持という態度を作つてゐる。無産大衆黨のみが合同々々と急迫してゐるが各無産政黨の幹部諸君は前述の通り偉い幹部の椅子に坐り込んでゐて、大衆の意向をチットも顧みない。要するに彼等はあんな肩書を持つて獨裁をやりたいのである。合同すればそんな椅子にもあり付けないだらうとのツマラヌ彼等の心配が無産大衆の當然不可缺條件を蹂躙してゐる事に想到する時は、斷然立つて彼等を膺懲せざるを得ないのである。

×

要するに友黨排擊の指導精神は大衆のものではなくして、無産政黨幹部の得手勝手の精神である。そこで分裂時代の立黨精神を守つてゐたのでは、どうしても階級的一大無産政黨の結成は不可能である。そこで眞に無産者の代表たらしめん爲には、現段階に於ける各無産政黨を打破して、而して新に一大無産政黨を結成するの必要があるのである。無産者運動の本來の精神は、決して無産黨幹部のためのものではない、卽ち其の幹部が顯要の地位に付く事ではなくして、無産大衆をして一擧に支配階級たらしめる事である。無産階級解放の大精神完成のために無産政黨は玉碎主義で邁進し、其幹部は此の大精神のために犧牲になる事を覺悟して一路單一無産政黨の結成に急ぎ、而して無産者大衆の眞の精神、意志の權化たる大同團結大合同の實現化を期する事が、此際最も重大なる不可缺條件である。現在の各無産政黨を解體せしめて新なる熱意と力とで新興單一無産政黨を作るかそれとも現在の各無産政黨の幹部諸君が一切の行掛りや情實や地位や勢力を捨てゝ、一途に大合同に邁進するか、兩者の孰れか一を取る事が刻下の急務であり無産者の本來の精神に適合するものである。

×

どうか無産大衆及び無産黨幹部諸君！私の意見に御賛同あつて實現せられん事を切に々々御願ひ致します。（一九二八一一二〇）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會運動に投ぜんとする處女達に與ふ

吉田初子

貴女は私の宅を訪ねて、社會運動に投ずると云はれました。貴女は無産階級婦人でもなければ又無産婦人同盟員でもない樣です、見受ける處中産階級の娘さんの樣です、そこで問題は貴女の投ずると云はれる社會運動ですが、貴女は一體社會運動をどう考へて居られますか。勿論貴女も大凡考へついてゐるでせう。卽ち現在社會組織と制度が餘りに惡い、之を何んとか改造して吾々お互ひに安樂な生活が出來る社會にしたい。所謂貴女ち貧富階級のない共存共榮の新社會を實現さす事の、其の大事業に加はりたいお希望でせう。もしそうだつたら今時の娘さんに似合ない立派な心掛けですが。私は貴女を卒直に信ずる事は出來ません、何故なれば貴女の社會的地位と、立場が惡いのです、斯く云へば貴女は怒らるでせうが、貴女がいくら憤慨されても駄目です。私は貴女を容易に信用することが出來ない理由を持つて居ます。貴女が若しほんとの無産階級に屬する人卽ち女工か小作人の娘であれば私は躊躇せず貴女を信じます。それは之等の人達は必然に備ふてゐるところの歷史的使命を持つて居ります。卽ち之等の人達。女工や小作人の娘さんは現在の資本主義社會に於て資本家階級から直接に搾取せられ支配階級からは壓迫されて居る境遇社會的な立場から本能的に反逆精神が燃つてゐるのですたとへ現在に於てそれが外部に表れていなくとも必ず將來に於ては斯くあるべき素質を備へてゐるのです。たから無産階級は信ずる事が出來ます。ところが貴女はどうでせう。

家には世襲の業務があり資産があり、ここに於て貴女は總じて經濟難から免るる[illegible]備へて居られます。たからさうしても生粹の無産者とは違ふのであります。でありますから貴女は心掛次第では現在資本主義社會に於て相當の地位迄進み、相當な生活を送り得る可能性があります。それたなくても現在のまゝでも貴女は現在社會の下積み階級よりは遙に上位に居られる身分であります此の點で私が容易に貴女を信用する事が出來ないと云のは。貴女は私の宅で「私はそんな薄志弱行な者ではありません、苟くも社會改造と云ふ大事業に身を投じると云ふのです、斷じて一身の生活等の問題は顧みない」とおつしやいましたね、貴女の唯今の御決心、其の純眞な憤り、その牢乎たる御意志の何時迄も變らぬ事をお祈り致します。然し乍ら、唯徒らに因襲を呪ひ・悲鳴をあげ愚痴をこぼす所以を知つてゐて、闘爭するもの丶慘酷を忍ぶ人知れぬ犧牲に堪へられない、動き易い、興奮しやすい、そしてイザとなると何も出來ない現代女性をイヤと云ふ程見せ付けられた私は如何に貴女が斷言されやうが此の事實はどうすることも出來ない無駄事です。貴女は今何かに憧憬てはいませんか理想に燃えて居るでせう。それ丈けに私は貴女の將來を疑ふのです貴女には立派な父母がお出でゝせう兄弟姉妹がありませう。親戚知己友人恩人もありませう。之等の人達が擧つて反對したらどうする積りですか。貴女は恐らく今では之等に反對する覺悟があるでせう又出來るかも知れません。たが貴女は一時的の覺悟や決心等と云ふものは大して確かなものではありませんよ。貴女が愈々社會運動に投じたとなれば貴女の周圍には忽ち暗雲が漂ひます、恐らく貴女の父上は泣いて諫止するでせう。母上は狂氣して貴女を搔き口說くでせう。兄は爲に失業し、妹は緣談が破れると云ふ事になつたら貴女は果して此等に堪へ得る事が出來るでせうか。貴女が現在の覺悟と決心とを以てすれば或は之等に堪へ得る事が出來るかも知れませんが、貴女たつて食はずには生きる事は出來ません。若し貴女の職業を奪はれて無一文になつて食へなくなつたとき、貴女はどうしますか。貴女は倍々の反抗心を燃して大いに行ると現在では思つているでせうか。然し私の過去の經驗ではその樣な人は百人に一人もありません。よし一人でも得たとしても二年三年と不安と焦燥を續けても運動の方でさつぱり目に見へた効果も擧がらず嘗て憧憬れていたやうな華々しい溜飮の下る樣な痛快な事件も起らなかつたら貴女は失望しないでせうかね。そこでゝす、貴女の心に弛みが出來た時「改悛」「善良」と云ふ言葉で父母なり先輩なりが拾ひ上げてくれる。そこで貴女の持つて居られる知識學問が今度は貴女をして社會運動を否定する道具として役立つ事になりはしないでせうか。そしてそれは貴女の思想から出發したのではなくして、明かに貴女の地位境遇からである事は貴女自身もよく分る事でありませう。たから私が貴女を疑ふのです。然し乍ら私は貴女を疑ふけれども必ずしも中産階級の人が社會運動に投ずる資格がないと云ふのではありません中産階級には其自體の歷史的使命があり、社會的任務があるのです。貴女を唯今の樣に興奮させたそして現代矛盾の社會に抗議す可

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く決心せしめた直接の刺戟と眼前の問題が解決され・消滅しだとしましたら、其の後に於て貴女は、冷靜な理智と強固な意志に訴へて狭い私達の運動、忠けられたものを解決すべき唯一の途……か眞直に進むだけの確信がおありでせうか。失禮乍ら社會運動は斯うした絶大な犧牲を要求するそれはく悲壯な戰ひである事を申し上げて置きます。之れを忍ぶ強固な意志と實踐の覺悟、言ひ換へますと未來の新社會を築き上げる……そして築き上つた時には表面に少しも現はれない、踏石・土臺石、となる處の覺悟が貴女におありでせうかもし之等の覺悟が出來なければ大金持になる志望でもした方がよいと思ひます(おわり)

社會主義に投ぜんとするインテリゲンチアに與ふ

大野佳良

知識階級の諸君よ・諸君も知るだらう。彼の社會主義の鼻祖マルクスの生涯は非常な迫害が襲つてゐる。彼がその主義を社會に發表する勢ほど砲彈を聞くに決して自己一身の安全を計つたものではなく熱烈な愛と社會の矛盾と憐れなる勞働者に對する深き情熱に引かされて遂に此の運動に投じたのである。又近くの問題としては印度革命の首領ガンデイは印度三億の同胞を救はんが爲一身を投出したのであるが、其の力は遂に全印度を動かして古來未曾有の大騒擾をなしたのである。彼等は皆利己的慾望を目的としての主張なれば何も苦しんで倒る處の迫害を受けやうか。彼等は自ら先頭に立つて全民衆を煽動し動亂しあらゆる戰闘を突破し犧牲となり危險區域に入りそしてこそ全印度を動かしたのである。之は社會運動に投ずる者の作段であつて殆んど皆同一の經驗を經てゐるのであるが、現在の改造運動に投じてゐるインテリゲンチヤ諸君は果してか〻る公明正大な眞意と行動を有してゐるか、此の點について大いに疑ふ者である。

現代の思想界に立つて改造運動に從事しつ〻ある所謂インテリゲンチヤ諸君の態度を觀るに、君等の多くは資本家の味方となつてゐるか然らずんば勞働者の味方となつて專ら其の擁護に當つてゐる樣であるが、その何れかの味方になる動機及び理由は概ね兩者かの意味に於て我れ自らと利害を同じうする點にあるらしい。表面は堂々たる議論の如く聞えるが、その根本に於ては自己中心の打算より割出してゐるのではないか、勿論一樣には見られないけれど、現在社會に立つて花々しく活動して居るもの程その心底に於てやましい點がありはせぬか、苟くもインテリゲンチアとして世の指導に立つ者は假へ自己一身の利害は何れになろうとも一切それに拘束されずして常に眞理の探究と主張と實現に向つて畢生の努力を拂はねばならぬ。そこにインテリゲンチア獨特の價値があるので、金錢や名譽に左右されて自己の主張を變ずるが如きは全く立場を沒却せるファシストの態度である。

考ふるにインテリゲンチアに屬する者は眞理を以て力とし、ブルジョアは金錢を以て力とし、勞働者は〇〇を以て力とするのである故にインテリゲンチアは金力と〇〇との外に超越して眞理を唯一の武器として迷へる民衆を指導し動かさなければならぬ。然るに現在投じつ〻ある多くの知識階級の諸君は動もすればファシズムに傾き金力や名譽其の他誘惑手段に打敗かされることは實に情ない事であり忌々しい事である、諸君等は專ら眞理を探究し之に依つて得た知識を以て無智なる民衆を指導し或は何等かの手段に依つてアヂテーションする所がなくてはならぬ。而して一度自己が眞理と信じた途に如何なる迫害如何なる誘惑があらうとも總てを突破しまつすぐに進んで行く勇氣がなくてはならぬ處が現在の所謂君等の態度は殆んど作ら僞名の手段とされてゐる樣であつて。之を以て全民衆を救ふと云ふが如き高潔な精神を以て居る者は稀である。中には全民衆を救ふところかデマゴークを飛はしてファシズムに導きつ〻ある者も少くないのである。君等は如何に眞理だの正義だのと云ひ乍らも公然之を裏切つて居ると云ふに至つては天下無二の大デマゴーク大ファシストと云つても決して過言でないのである。君等のその證據は自己の不利益危險と見たら何時でも沈默して居るのである。一體君等は徒に口に民衆よ民衆よと言ふが果してペンや口で叫ぶ如く民衆の爲を思つてゐるのか或は思想の大衆が民衆々々と言つた方が君等の原稿が賣れ行きがよいと言ふので言ふか、昔の人が何事もお上と言つた方が自らの安全を保つ好都合であつたのと同樣の醜い心事ではないか、インテリゲンチア諸君よ、吾々の主義を貫徹させるには餘りに不安であり、苦しい時代であり、爭ひの多い社會である。此の不安此の苦痛を切り拔くには中々容易の業でない、非常な決心と努力とを要す。さうしても社會を解放してユートピアを作るには數名の徒計りでは社會は幾百年すぎても依然として此の通りであらう。此の難關を切り拔くには犧牲の犧牲となり先頭に立つて危險區域に入つてこそ初めて我等のユートピアを建設する事が出來るのだ。

インテリゲンチア諸君よ。此の際君等が眞に解放運動に從事する決心勇氣覺悟があるならば、速かに其の醜い點を去り來りて投ぜよ然らずんば速かに一歩退卻せよ。(完)

三宅正一・星野三省共著

電氣料は
いくらが正當か

附 富山爭議の眞相

一部 十五錢

本社取次

全土戰報

町村會議員改選が近づいた用意はよいか！

各村に各部落に集會がある。小作農民の集合であり、小町民の集合である。大は數百、小は四五名。皆不平不滿の充滿した會合でないものはない。そこには生活の不安がたたよふて居り、「おれたちの暮しは一體どうなるんだ」といふ叫びがあげられて居る。地主や資本家に對する呪咀があり、町村政に對する要求が醸されてゐる。中には自分達の手に役場がのりとられた時の計劃さへもが進められてゐる會合がある。豫算をどうするか、税金をどうするか、賃銀をどうするか、小作料をどうするか、町村制もかえねばならぬぞ、等々の問題が汗と血とでもつて論議研究されてゐる。或村では議員の大部分を小作人から出すやうに畫策してゐる。或村では候補者を物色してゐる。また用意の出來てない所は早く着手せねばならぬ。左記數項に當面の指針である。

一、二、三人でよいから至急集まつて對策をねること。

一、選擧人名簿を調べて確實な票數を知つておくこと、十一月五日から十九日まで各役場で縱覽が出來る。登錄もれないとあるから氣をつけよ。この場合は抗議を忘れるな

一、票數と候補者との關係を考へて必ず當選するやうにすること。

一、候補者を物色して、その承諾を得ること。候補者は黨員からが一番よい。二番目に組合員がよい。とにかく小作人、小町人（いはゆる下層民、貧乏人）から出すやうに。

一、票數を融通すること、一部落で足りない場合は他部落に交渉して都合してもらふこと、票數の餘る部落では足りない部落へゆづること、部落感情からはなれて常に村全體として階級的立場を嚴守すること。

一、集會を度々開いて——回數をかさねることに多人數寄せることに努力して、必勝を期すると共に我々自身の政治意識を高めること。

一、村政の缺陷をあばき、地主議員のフシダラ、フギヨウセキをさらけ出すこと。學校、役場の建築、信用組合、農會などの經營について不正はないか、十分調ること。

一。その村で特に重要な問題をとらへて——例へば出雲郷村の戸數割課率、井尻村の官公造林など——新しく選出される議員によつて有利な解決を告げるやう精力的な研究と闘爭を開始すること。

一、何月何日に選擧が行はれるかを各村で調査すること。

町村會を民衆の手に！民衆税を輕減せよ！

税金は上から議員は下から！

用意を急げ！

（日勞黨島根支部）

反動モーロー團工友會に呈す

吾等下級從業員に依つて組織された、遞友同志會東工支部が、當局の壓迫ぶり實に言語に絶して嚴しい下にあつて、併も僅々二ケ月にも足らぬ日子と、第一期の無運動資金の裡にあつて斯くも破竹の勢ひを以て數千の同志が斷然と起ち、雄々しく各分會の發會式を擧げ得たと云ふ事は抑其の偉大なる力は……そもそも其の結果は、如何なる所に原因を發してゐるものであるか。

モーロー御用團體、工友會の盲人共よ！よく拜聽して置け。

正義は常に勝つ…是は動かす可からざる眞理だ、社會の潮流は常に眞理に依つて流れてゐる。

吾等の提出せる數ケ條の要求は…何等不合理の點なき事は君達も承認してゐる事を證明して置きながら、何故に今更不合理なる策動に依つて合法的なる吾等の運動を中傷し阻止せんとするか。君等の手段が餘りに卑劣極まる故に此の小稿を起して反省をうながすものである。工友會の腰拔け共は同志會に入會すると云ふ事は自己の立場を不利に導くものであると考へてゐるらしい。何故なるや、吾等は判斷に苦しむものである。只徒に彼等工友會の創立委員の顔ぶれを眺むる時、申合せた樣に任官間近にある古參工員であると云ふ事が一つの原因としても考へられる…實に然りとすれば、彼等は自己の任官に支障を來す恐れあると考へてゐる同志會に入會せんよりは名を正義に借りて上官の機嫌を伺ふとするものであると解する事が出來るとしても彼等の綱領第一項にある同志の生活向上に智識の發展を計るを以て目的とす、と云ふ條文と甚だしい矛盾に逢着せざるを得ない、何故ならば吾等下級從業員は當局に向つて生活保證を得る要求をせざれは現在以上生

進め

活の向上を計る事は殆んど絶對不可能であるからである。彼等策動分子は同志會に入會すれは總て來る可きものは退職沙汰であると解しそれを口實に同志會員切崩しに狂奔してゐると云ふ事も吾人は解釋に苦しむものである。

遞友同志會が暴力團や不良團ならいざ知らず、假初にも一國の重要なる通信事業に從事してゐる大國民である。それに對して餘りに無理解なる當局に向つて正當なる極めて合理的な要求を提出し全從業員の生活意識の向上を計らんとする。其處に如何なる理由があつて、入會すれは免職になると云ふ言葉を見出したのか。餘り無智なる工友會の策動、當局の壓迫の理由不可解に吾等は苦笑を禁じ得ないのである。過日某氏は私に向つて運動中止を迫つた、理由は斯うである、遞友同志會規約第一項に吾等は社會民衆黨を支持す―と云ふ綱領があるからだと云ふ。それが何故いけないのか？某氏は答へた。曰く吾々官僚人は政治的色彩を持つてゐる結社は絶對に入會又は入黨してはいけない―と云ふのだ。其無智たるや實に悲しまざるを得ない。

遞信當局は官僚人なるが故に政治に参與してはならないと云ふならば過日の普選當日何故に全從業員に投票を許可し投票時間を與へたか、餘りに時代を知らなさすぎる盲人共の多い事にあきれざるを得ない。

吾等は官僚人なると職業人なると商人なるとを問はず、大帝國の臣民たる事と社會人たる事は之を否めない事實である。

社會人である故に經濟人たらざる可からざる事は苟くも敎養ある現代人にして、否と答へるものはあるまい。斯ふした經濟社會に生活してゐる吾等は當局に向つて、生活保證に必要なる經濟的生活に合理的なる要求は當然なされなければならない。

自己の榮達の爲め個人的利益の爲め無産大衆の生活を脅かす工友會、愛なき小ブルヂョア精神は遙かに葬らなければならない。全國數十萬の遞信從業員同志の爲めに吾等は、前述の如きスパイに對して飽までも正義の強さ、團體の強さを知らしめなければならない。

（遞友同志會京工支部渡邊仙衞）

滋賀縣下の暴壓

○○を口實として、狂烈なる○○○と無産運動を彈壓する時こそ此の機ぞ！と牙角を磨き出したる反動奴。○○一黨は○○の名を濫用して、生くる爲の無産者の日常鬪爭を配下に命じ抑壓せしめた。赤主義者と目する者は全て家宅捜査、拘束禁足等に横暴なる人權蹂躙をあへて爲すに至つた。

吾が滋賀縣に於ても其の魔手は下された、十一月一日であつた。久し振で疲勞を休めていた日だ、夕方突然○○二ッ現れ來りて、俺の寢室に踏込み強制的に文庫を開き書類を○○し同行を強迫した、何たる横暴な振舞か！併し何の爲の書類押收か？何が爲にの召喚か？斷末魔のウロタエとは謂へ何たる狂態ぞ、唯友人との手紙の交換に過ぎないのだ、然るに怖れおのゝき泥坊が働くの拘束するのと斷末魔の氣狂いとは謂へ何たる横暴か！何たる人權蹂躙だ！

然し乍ら斯くの如き彈壓の結果如何なるものを成熟せしめたか！赤奴等○○の御有難き御説教の結果如何なる思想を煽り立てたか！

打ては響くのだ、甘言馬耳東風だ○○よ、御有難う存じます、一人打ては其の反響は十人となり百千萬と俺達の團結は一段と堅まり行くのだ！○○よ、打てく斷して俺達の理想社會實現の歩は進み行くのだ同志諸兄！大いに益々鬪へ！

治維法が何んだ！

治警法が何んだ！

鬪へ 鬪へ？

（志賀松田生）

北海道戰報

秋の小作料納入を前にして、吾が北海道の全土は小作爭議の波に襲はれてゐる。然も○○に名を借りての檢束の彈壓の中に、勇敢なる農民は鬪つてゐる。

殊に新十津川の爭議は、全北海道の中で最も激烈を極めて、地主は農民の咽喉をしめんとして立毛差押を斷行した。地主は新十津川本町精米業大田政上富德大込といふ極惡のスタンプの押された奴だ。左は地主と瀧川署を糺彈したビラである。

小作料納入期の來る前に

小作が汗と油で作つた立毛を差押へる―理由に曰く小作料を支拂はぬらしい、

瀧川町の諸君！ドウ慾と助平で有名な本町精米業大田は新十津川の小作人に反別をゴマ化して契約し小作人に小作料を差引かれたら今年耕作前に立入禁止をやつて弱い小作人に裁判費用まで支拂はせた奴だが、今又小作人が汗と油で作つた立毛を「小作料を滿足に支拂はぬらしい」と云ふ口實で差押へ、ゴマ化されてゐる反別にも小作料をフンたくる事を無理矢理納せしめたのだ。

彼大田はこの樣に小作人を搾り上げた金でエイ年をして妾ぐるいをしてゐるのだ、大田の奴はそれだけで滿足せずに自分の奴新十津川上徳富地方の大地主である所から

地主協會とケツタクし上富德のドウ慾非々コッパ地主大込を煽動して立毛を差押へさした

それは大込の小作人佐々木作が昨作アゼ下水から小作料を引かしたの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

で次田始め其地方の地主がアゼ下水を引かねばならぬ處から佐々木君を立毛差押へした上に徹底的にいじめ付け米のされないアゼや下水からも不當な小作料を搾り取らうと云ふ獣なのだ。勞働者農民諸君！

惡地主大込、次田を民衆の前にさらけ出し小作人の要求を貫徹せしめ様として全農[illegible]五十嵐君外數名が應援に來た所不當にも警官は檢束拘留處分にしまだに釈放しない。又支部長小坂君もいじめ付けられた。警察は決して我々の生命を保護するものでなく地主や金持の〇に過ぎないのだ。

惡地主次田、大込を徹底的に攻撃しろ！

地主の〇警官を糾彈しろ！

新十津川の全小作人商人諸君に激す

瀧川の惡地主と上徳富のコツパ地主大込けと油で作つた立毛を差押へろ。

新十津川の小作人小商人諸君！

ドウ慾と吝嗇で有名な瀧川の惡地主次田と本町上徳富の非々地主大込は地主協會とケツタクし腰弱い小作瀧川五郎君と佐々木直復君に今年の小作料を滿足に拂はぬらしいと云ふ口實で小作料納入期の二ケ月以前に汗と油で作り上げた立毛を差押へたのだ。新十津の小作人諸君！瀧川君が三町たと言つて借りた田は一反歩りも不足なのだ。それで昨年十俵差引いてやつた。それが惡いと言つて耕地立入禁止をして弱い小作人をいじめ裁判費用までださせた奴だ、小作が弱ければ地主はツに上つてつけあがるのだ。佐々木君も昨年は地主大込に不足反別を引かした上にアゼ下水を引かした、それで今年は次田や其の邊の地主が結タクして佐々木君をいじめつけアゼ下水から不當の小作料を搾取し様として居るのだ地主は小作をいじめるために地主協會を作つて堅く團結してゐるのだ。小作人は小作人で團結して地主に對抗せねばならぬ。小作人よ團をくめ！全村の小商人諸君！新十津川は本道で一番高い小作料を搾られる、これが故小作人及自作農諸君は思ひ切つて貧乏だ。小商人は不景氣に泣いてゐる、たから不當な小作料を引き下げさす運動を進んで應援せにやならぬ、

小商人は資本家地主の味方ではなく小作人勞働者の味方だ！

◆惡地主次田と大込を徹底的に葬れ！

◇小作人勞働者小商人一致團結せよ！

◆北海道で一番高い小作料を五割引下ろ！

◆アゼ下水不足反別を引け！

（札幌――一市民）

秋田縣の泥棒地主

秋田縣仙北郡金澤西根の地主照井治郎といふ奴は、常に百姓が血と汗で作つた米を取立て、「極惡地主」と云はれる程の不逞の徒であるが、十月十二日朝、人夫四人を雇つて、同金澤町字安本の小作人照井傳吉君が春先から一生懸命で造りあげた三反歩程の稲を、泥棒の様に無斷で刈り取つた。全く地主は××たと云ふがその正體を表した。

十三日になつて、照井傳吉君はこれを見てびつくりして、直ぐに同村の全國農民組合支部に報告したので、同支部は早速横手町協議會本部に報告した。本部ではすぐ六郷警察署に赴き盗難の告訴と強硬な談判をやつたので、流石、地主の手先きである六郷署も捨ておけないので、直に檢事局へ廻す事になつた。

地主の泥棒は、最近百姓達が農民組合に入つて行くので腹を立て、やつたこの事だが、全く馬鹿な奴である。

同村の農民は一せいに憤激し、こんな地主は徹底的にやつつけねば虫が納まらないと云つて、愈々闘爭を固めてゐる。

（秋田縣一讀者）

青年訓練所の本質を曝露せよ

わが秋田縣仙北郡高水村の青年訓練所教官高橋[illegible]は常にミリタリズムの注入に無中となり、村内地主と結托して純朴なる青年の頭を亂してゐたが、去る八月生徒を呼び集めて、「青年訓練所の重大さに、軍事教練を行ふと同時に國家を顯揚しやうとする社會主義を撲滅するにある」と高唱し、農民階級の生活權確立の運動である小作爭議を誹謗するの言を弄して憚らぬので、生徒は「その具體的說明」を求めるや、高橋は「例へばこの村の佐藤の様なものである」と個人中傷をなし、青年大衆への反感を強めんとしたので、憤激した佐藤君及び村内大衆は、青年訓練所及びミリタリズムへの反抗に燃えつゝある。すでにして、青年訓練所の目的は明かになつたのだ。彼等の目的は大衆運動のたゝきこはし、無産青年の懐柔なのだ。われらは正體をはつきり知つたのだ。

青年訓練所を即時撤廢せよ。

青年に對する軍國的官僚的支配をたち切れ。全國的大衆青年同盟を建設せよ。

十月三十一日　秋田縣辻峰太郎

社民の兄弟しつかりやつて呉れ

神奈川縣では、此の春の縣議戦で社民黨から、議員四人を出して副議長の椅子まで獲得した。我々は實に神奈川縣無産大衆の躍進的な自覺を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

喜んでゐる。況んや、政友、民政兩派の間に介在して完全に決定的要素となつたのだ。下手に多数派になるよりは仕事はうまく出來る筈だ。大衆の前に既成政黨の面皮を剝ぎ、大衆の日常闘爭を活潑に指導し、大衆の要求を貫徹させるに絶對の機會だ所が、來年度の豫算に係る廿日から召集されるこの議會で、豫算案を一瞥してゐると實に平々凡々舊態依然たりだ。如何にも社民の議員が無力で何も出來はせぬとばかり、知事以下既成政黨の奴等に見くびられた形だ。馬鹿にされてもよい。審議する時に、遠慮なく彼等を糾彈し修正して呉れ。栃木縣會がよいお手本だ。石山寅吉氏一人で政友民政を引づり廻したではないか。

神奈川縣無産政黨の對議協議會よ、うんと頑張つて呉れ。

我々日勞青年は相呼應して組織に宣傳に煽動に、今や全縣下にその網を張りつゝある。横濱市に於ける我々は最も活潑な運動を續けてゐる

神奈川　佐々木

起てよ市井の貧窮兒

〇〇〇記念たる特別な鳴り物入りで、日本一の公認賭博競馬が行はれてゐる。根岸競馬だ。今日で四日目だ。狭い道路を矢たらに自動車が運轉る。女子供は家から一歩たつて出られはせぬ。御奇特な官僚青年團の連中に此頃は交通整理なんて交通巡査の眞似なんかして居られなくなつた不景氣なんだ。それだのにバクチをしに遠く九州北海道から來る奴があるんだ。

數萬坪の競馬場に明治初年に政府が居留外人に「おべつか」を使つて貸付けた永代借地で今は日本レース倶樂部といふブル共の無料借地だ。借地満期は疾うに過ぎたと口癖に云つて、政府からの借入金さへ踏倒さうとしてゐる市長や市役所の連中は何をしてゐるんだ。こんな無税地があるのを知らないのか。そしてその通路の東側には百軒長屋や無業長屋のベタ一面に續いてゐるのを知らないのか。

俺達にとつては、數萬坪の競馬場なんか春秋の二回にブル達の自動車の砂埃を浴びる丈のことだ。一文だつて俺達に落しては行きはしない。その上、一日に何十萬圓たの何百萬圓たの馬券が賣上げあつたと新聞紙では騒ぎたてる。政府が〇〇〇紀念として大びらに自動車の紳士をよせ集めてゐるんだ。資本主義の擁護機關の幕あひには、こんな餘興が興ぜられてゐるぞ。

俺達の子供が平生ゴルフにやつてくる外國人の球ひろひに使はれたり俺達の女房が芝生の手入に雇はれたりする事で、この公認賭博を有難がつてゐる時ぢやねえんだ。馬の様に使はれ捨られ、その上よいお慰みにまでされては堪らない。

競馬場なんか撤廢しろ。俺達の生活をもつと、何とかして呉れろ。なに、馬鹿に頼んだつて始まらねえ、と。さうだ。兄弟。俺達の闘ひで解決しよう。

横濱一讀者

因襲を打破つて戰ふ

今度、吾が熊野村に新人聯盟と稱する青年の集まりが出來た。

熊野は山間の寒村であり、地主階級の勢力を振ふ因襲の村である。されば、此の社會科學の研究と農民意識の確立の爲めに生れる新人聯盟の發生は、正に彼等地主等の驚駭するところであつた。彼等は中傷漫罵をもつて、この新興青年の上に限りなき迫害を加へたのであるが、吾等はこれらの反動勢力と抗爭して一歩も讓るところは無い。古き熊野はやがて吾等の力の前に亡び、新しき熊野は、眞に平和な、生活的な文化的な熊野は吾等の力の前に築きあげられるであらう。

勿論、吾等は徒らに、新人聯盟をして、少地域的な研究團體に終らしめるものではない。この團體が契機となつて、村に無産黨の支部が置かれ、農民組合の礎が据へられるであらう。殊に、吾等は一番當面した任務として官僚的青年團的支配の下に呻吟しつゝある村青年團の青年大衆を吾等の陣營に獲得する事である。この任務を最も有効に遂行するには、全國的な無産青年同盟が必要である。吾等は進め社同志諸兄と共に、この青年同盟を一日も早く作りあげて、反動勢力の擡頭を粉砕しつゝある青年大衆を喚び起し、滿十八才以上の男女の選擧權の獲得、戰爭防止生活權確保、研究の自由の爲めに戰はねばならぬ。

全國の進め讀者諸君、吾等の闘爭を御助け下さい。尚、近村の人々とは積極的に手を握りあひたい。

島根縣八束郡熊野村S生

戰列は整つた、次は闘爭だ！

(日勞黨名古屋支部誕生す)

日本勞農黨の旗の下に！

此のスローガンを押し立て・起つた我が愛知縣の勞働者・農民・小市民の支部組織運動は日を追ふて盛大なる其の陣容を固めつゝあつたが、特に目覺ましき活動を續けてゐた名古屋市を中心とする支部準備會は愈々基礎を固めて去る十月廿五日に同市中區中座に於て無慮數千の熱烈なる小市民大衆の支持の下に、又各方面よりの友誼團體から盛んなる祝辭祝電の雨の下に、華々しくも結黨式を擧行、宣言、決議、綱領、規約、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

役員、等々を決定した後、本部派遣の麻生書記長を始め、河上、網島、三宅、鈴木氏等の應援の下に、創立紀念大演說會を開催した、集まる小市民大衆は結成の有らゆる障碍を完全に擊破した其の意氣と、喜びとに滿場總立ちになつて、日勞黨名古屋支部萬歲を絕叫しつゝ盛會裡に散會した、因に支部宣言決議役員は次の通りだ、

宣　言

全無產大衆の要望せる階級的統一主義を高調して吾が日本勞農黨が生れてより早くも二年の歲月は過ぎた而かも我等の輝ける鬪爭と主張は、今や全無產大衆の正しき理解と共鳴を得た見よ、全勞農戰線の合同統一は吾黨を中心として的確なる具體的問題となりつゝある此の重大なる秋に於て吾等は名古屋支部を結成し中部日本百萬の勞農大衆と共に光輝ある戰線に加はることは吾等の大なる誇りであり喜びである、而かも顧みれば我名古屋市を中心とする、愛知縣一帶の勞農運動は過去に於て嵐の如き兇暴なる彈壓と又それにも增した右翼幹部の反動的裏切とによつて戰鬪的黨と云はず組合と云はず荒したしく損はなかつたのである。

新興大衆の意氣と利害を代表するに足るものは無く、既成政黨は腐敗墮落の極に達し其の醜體を暴露して全民衆の憎惡を買つた。

見よ、愛知縣を中心として蹂躪された民政黨の醜體をそれに乘じて利權あさりに沒頭する反動の手先共を吾黨の旗の下に密集せる血盟の友よ我等は今より彈壓と迫害と戰ひつゝ更に擴く全日本の無產大衆と結合して我等の全き解放の日の爲に戰ひ、近くは愛知縣下百萬の小市民、勞働者、農民の日常利害の爲に、總ゆる既成政黨、資本家地主の暴虐を排擊して鬪はんとするものである。

至誠と純理と意氣とを以つて進む我が黨の鬪爭に光輝あれ。

十月廿五日

日勞黨名古屋支部創立大會

決　議

一、無產大衆に依る政府の徹底的實現を期す
一、自轉車稅、荷車稅の撤癈
一、電燈料、瓦斯・水道料の値下
一、小學校授業料徵收絕對反對
一、市營勞働者住宅建設要求
一、無料診療所及無料產院設置要求
一、農民運動との緊密なる提携

役　員

支部長佐々木市太郎、委員荒谷宗治、龜田了介、宮村汝春、鈴木英一、松本倉吉、田中柳信、橫山眞一、片桐市藏、太田米吉　以上

愛知縣下百萬の勞農大衆諸君！俺達の戰ひは今からだ、陣容は今整つたのだ、次は鬪爭でなければならないのだ先づ吾々當面の仕事は反動的支配に蹂躙されてゐる苦悶の農民大衆を戰ひ取らねばならない、原銀吉一派に因つて蹂躙されてゐる農民大衆がそれだ、吾々は奴等を眞先に中部の戰線から放逐しない限りは、愛知縣下の輝かしい勞農戰線は統一し得ないのだ、又吾々は舊評議會系の勞働大衆を我等の陣營に闘ひ取らねばならない、そうした時最も强力な愛知縣下百萬の勞農大衆の眞の統一が出來るのだ、偉大なる其の壓力に因つて我々は醜體に醜體を重ねつゝある田中善立一派、久野、西脇、等のゴミ共をけし飛ばしてしまふのだ我が愛知縣下に奴等の如き醜類の影をすら止めさせてはならないのだ。善立も、三輪市も西脇も、久野もあつたもんぢやない、奴等の總てが搾取階級だ、奴等と鬪ふ爲に日勞黨の旗は我が名古屋に高く押し上げられたのだ、縣下百萬の勞働者農民、小市民大衆諸君よ、密集せよ、吾が日本勞農黨の旗の下に。

名古屋青山誠之助

農民の村會と在鄕軍人會の活躍

農民の村——群馬の强戶村

群馬縣の强戶村は吾黨群馬聯合會の中心勢力で、村會も十二名中九名をとり、村長も書記も農會長も吾が黨員なる農民である最近その管轄の太田署の改築運動が起つた。それは縣の命によつて九ケ村の村長が連名で一村九百圓の寄附をなすべき旨を添て通常縣會に請願の形式をとるのである。强戶村にも九百圓の寄附が來たが、吾等の農民村長はこれを村會にかけしに、村會は「農村窮乏の折からかゝる警察署の擴大の如き不生產的事業に寄附することを得ず。若しそのために强戶村の駐在所が廢止さるとせば農民自體で警備する」と決した。よつて村長は連判を拒絕した。ために一村の村長の名なきため當局は弱り、つひに「强戶村のみは金はとらない」といふ一札を入れて村長が請願書に署名した。ついで帝國軍人會本部から東京九段に軍人分會館を建設すべくその費用分擔として强戶村分會に四十圓の割宛寄附が通告して來た。分會の評議員會はこれを拒絕し「在鄕軍人は兵役の義務をつとめ鄕にあつても異常に公共的活動をなしてゐるのでかへつて本部より補助金を下附すべきにも拘らず農村窮乏の折に、會館建設の如きものに寄附を强制するは反對なり」との聲明書を發した。憲兵隊、聯合會長、司令長官はこれに狼狽し「寄附金」は聯合會長が出すといふ條件で百方決議の取消しを懇願し交涉中。

吾々はこの無產者の手にある强戶村がかゝる反民衆的施設に反對して一方村立病院の計畫を進めつゝある。民衆の政治は町村より來る町村選擧戰に於いては、吾々は全國に多數の强戶村を作らねばならぬ。

日勞新聞第四十一號より

進め讀者會生る

十一月十七日午後八時大阪浪速支部に於て進め讀者會生る。集まる者輝かしき希望に充ちた戰鬪的青年諸氏三十名、進め大阪事務所より、末永、吉田女史、大野三名の社同人出席。

定刻實松開會を宣し、後讀者會要旨數項に就いて審議す、定刻終るや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

茶話會に移し十一時閉會す

吾社は此の盛大なる讀者會發會式を仰望すると共に、諸君が今後進め讀者倍加運動に座談會に讀書會に研究會に討論會等を通じて實際運動に參加し、此れを指導せらるゝ日の近き事を望むものである。

進めの壓力を以つて鐵鎖をたち切れ、

進めの旗下に投ぜよ。

進め讀者會萬歳。　（大野生）

電燈料金値下げに立つ信州大衆黨

吾が信州大衆黨は、安曇電氣株式會社の下に不當なる料金を徴收せられ、苦惱しつゝある民衆の生活擁護のため、今敢然として立つた。吾等は必ずや、大衆の壓力によつて、所期の目的を貫徹するであらう。左は、安曇電氣株式會社に對する勸告狀及び決議である。

電燈料値下に就き安電に勸告す

不景氣は益々深刻化する、農民は收穫物の暴落により、勞働者は賃銀の値下に依り、小賣商人は商況の不振により吾々大衆の生活は極度に窮迫を強ひられつゝある、此秋生活必需品の安價なる供給を求むるは蓋し已むを得ざる趨勢に屬する。

生活必需の重要なる一つである電燈値下の要求も亦必然の結果として起り今や勃々たるものあるを見る。靜穩の中にも嵐を孕まば遂に勃發すべく進展しつゝある。一つの情勢はその途上必ずや他のより急激なる情勢を生む高價なる電燈料金支拂に喘ぐ大衆は何處に行かんとする？早くも此の情勢を察知せる函館電氣會社は本年四月一燈に對し金拾五錢値下を斷行し、之を逸早く耳にせる京都電燈會社福井支社も亦一燈に付き金七錢の値下を斷行し其他鋭敏なる洞察力と良心的識見をもてる各社は自ら先んじて各讚すべき英擧を敢行した。

不幸、然らず、急迫せる事態の前に目をつぶる者或は却て激流に抗したる無智、緩慢なる會社は徒に事を紛糾に導き、亂脈の鬪爭は結び解けざること數旬に及び自他共に慘たる犠牲の數々を拂つた。此の代表的一例として吾々の記憶に未た生々しい富山電氣滑川紛議を擧げる。

然而後、吾等は安筑大衆に電燈、電力を供給しつゝある、安曇電氣株式會社即ち貴社は如何なる供給狀態を以つて需要家に對するかを見る、その時我等は貴社の盲者蛇に怖ぢざるの類と云ふべきか？然らざれは暴虎馮河といふべきか？其危險なる大膽に一驚を喫せざるを得ない。

今、貴社電氣供給規定なるものを繙くに、タングステン電球五燭光より五拾燭光迄一個金四拾錢とあり、東京川北電氣會社の定價表による一個金拾壹錢に比し實に貳拾九錢の高額を示し、電燈料金は中央電氣株式會社に依る十燭光五十五錢（器具損料ヲ含ム以下同ジ）十六燭光六十五錢（各々一ケ月點火料金）に對し十燭光六十錢十六燭光七十錢の高價を示し、その他電燈器具貸附料、電燈取附移動工費等々と視野を擴大するにつれ、過重なる料金を課しつゝある事實は續々と發見される。

而して再び吾等は平然として石を待つが如き貴社を見る時「資本家は儲ければよい。需要家が何だ？大衆の意志が何か？」と大衆を侮蔑しての意識的傲慢、貪慾とせは、これ將に噴火口上に亂舞する者と言はねばならぬ。

されど我等は貴社多忙にして思をこゝに至すの隙なきが故と思惟する茲に我等は黨議により執行委員會の名を持つて、貴社宛本書並に別紙決議書を送り貴社の反省を促し、普く需要家の爲め電燈料金の即時値下を斷行せらるべき事を勸告す。

決議文

吾等は安曇電氣株式會社の電燈電力供給料金の過當高價なるを認め、同料金を左記の如く即時値下すべきを勸告し飽迄實現を期す。

一、電燈料一燈に對し二割値下を斷行すること、

二、電燈器具損料を廢すること、

三、一ケ月を通じて停電三回以上に亘りたる時及停電延時間一時間以上に上る時は契約料金の半額とする事

四、電燈取附工費五十錢を金二十錢にすること、

五、電球取換料金を「マツダランプ」定價表値段にて販賣すること、

六、電動機及附屬器具取附位置變更並に取除の工事費は全廢すること

七、電氣法令を確守する事、

右決議す。

昭和三年十月　日

信州大衆黨常任執行委員會

進め讀者の會設立さる

進め讀者の會が、各地に設立される事を知つた我が支局も、單に雜誌の購讀のみに止まらず、それを基準として、研究會を開き、讀者間の親密なる交際を計り、鬪爭團の結成に努めてゐる。平作だ！豐年だと言ふ支配階級の逆宣傳に反して、稻田に鎌を入れた小作人は、あの變態的な天候にわざわいされて、稻の穗先は餘りにも輕い。自然の脅威を受けた小作人の窮狀におかまいなしで地主奴は、例年の如く小作料を取りあげんとしてゐる。例年でも苦しみの最尖端を行きつゝあつた小作人の私達は、何とかしなくては、生き行く事も出來ない。進めの讀者網を全國的に張り廻して、意識分子を糾合して惡地主に對抗して行く組織の確立を急いでゐる。（廣島支局）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產運動講座

勞働組合法案に對する吾等の態度（上）

高見憲介

一

勞働組合法は國家意思に依つて定められる所の一つの法律であつて、吾國に於ては大正七、八年の頃勞働運動の擡頭期に於て續々として發生したる勞働組合や、無限の發展性を示したる勞働組合運動に對し、早くも一部の識者間に政府は直ちに之を公認すべしと云ふ聲が擧げられたものである。

また、勞働組合側に於ても一部の勞働者間に於ては、寧ろ公認要求の運動を起し政府に對して適當なる勞働組合法の制定の速かならんことを希望し、且つ要求するを可なりと叫ぶものも多數出現し、この公認要求の運動を起したものもあつたが、當時の内務大臣床次氏は、これに對し勞働組合は公認せざる旨を發表して社會の物議を醸すに至つた。

然るに床次氏の斯くの如き聲明のあつたにも不拘、翌年の大正九年には、勞働組合運動の發展は目覺ましきものがあり、政府は如何に勞働組合否認の態度を強調せんとしても、客觀的狀勢は之を許さず、遂に其の年の春、農商務省案と、内務省案との二樣の原案を作成して勞働組合を公認し、完全なる發達を成さしめんと急に態度を改め、勞働組合の公認を前提とする、所謂、勞働組合法案なるものを作製し議會に提出すべしと公表するに至つた。

處が、この勞働組合法案なる二省の原案なるものを見ると、何れも現代の資本主義經濟組織の社會に於て自然發生的本質を有する勞働組合なるものゝ本質に對して、極めて盲目的な如何にも御役人が自分勝手な取締りを原則として作製したる單なる取締法に過ぎず、返つて勞働組合の發達を阻害するが如きものであつたが故に、勞働組合の公認を要求した一部の勞働者も今更の如く、役人の頭の古さと、客觀的狀勢を觀るの明なきことに呆然として、この法案に對する反對の意を表明して了つた。

越えて大正十二年の頃には、この法案反對の叫びは益々高まり、全國の勞働組合は勞働組合法案と當時問題にされた他の二法案とを一括して「過激法案、小作爭議調停法案、勞働組合法案、反對全國勞働組合同盟」を組織して、全國の勞働者に檄を飛ばし「官製勞働組合法案は我々が惡戰苦闘して作つた闘爭的組合を絶滅させ骨拔の協調組合にしやうとするものである」と絶叫し一進會」社其他當時の社會運動團體は「過激社會運動取締法案反對無產者同盟」を組織して、宣言、決議を發表し其の決議の一節に「勞働組合及び勞働組合運動の無條件公認の外、苟くも勞働階級の戰闘機關としての組合の形態と行動とに干渉する一切の立法に對して、徹底的に反對する」と誓んで居る。又、曉民會の如きも決議として「日本の官僚的資本家政府が今議會に提出せんとする――勞働組合法案は吾々全プロレタリア階級の解放運動を鎭壓し攪亂せんとするものである。本會は全國の同志と協力して、此の妖怪的惡法案を徹壓に叩きツブさんことを期す」と揚言してゐる。この取締りを主旨とする勞働組合法案反對の叫びは斯くて燎原の火の如く全國に擴まり、二月四日には芝公園の勝場に「反對大演說會」を開き、二月十一日には大示威運動を決行して強く飽迄も反對の氣勢を示した。

其後大正十五年二月九日憲政會内閣の時漸く議會に上提されるに至つたが、その以前に資本閥の集團である日本工業俱樂部に本法案を示して、政府は資本家の意思を聽つた。（新規なる法案を議會に提出する時は政府は、夫れ夫れの資本閥に原案を示して資本閥の意見を聽くを常例とすると聞く）勿論、資本閥は斯くの如き取締りを主旨とする惡法にも拘らず、尚ほも資本家に都合の惡い點を修正して骨子を拔き取り、惡法に輪をかけた惡法として了つたことに聽いて居るものである。而して斯くも幾多の曲折を經た本法案は勞働者の反對排斥と資本閥の氣儘な強要との爲めに遂に今日に至るも決定を見ることを得ずに了つた。

然し本年の第五十六議會には再び三度、この勞働組合法案が提出され、愈々決定を見るの狀勢にあると言ふことであるから吾々勞働者は、其の議過に一瞬の眼を外すことを許さざるものである。

二

現在に於ける勞働組合法案は、勿論大正九年に發表されたものとは多少異つてはゐるが、最初のものと大同小異であつて取締法案であり、惡法案である點には何等の變りもないものである。現在では政府案と社會局案との二樣に分たれてゐる。後者は前者に比較して稍々進步的であるとの評もあるが、何れにしても其の根本に於ては惡法の程度も同一であると見て差支ないものである。

私は玆に於て同案の逐條的研究と檢討とを極めて必要とするものであると思ふものであるが、斯くの如き逐條的檢討は到底この小論に於て能くする所ではないし、又この問題を詳論することは元より不可能とする所であるから本論に於ては一般的の、一原則的の問題を二三扱ふに止めて置くこととする。

先づ、勞働組合法の重要性の問題を考へる。勞働組合法は勞働立法、或ひは社會立法の中でも第一に重點を置くべき最大の重要法律であるは言ふを俟たない。

然らば、何故に斯くの如く最重要の法律であるかと言ふ。夫れは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

この法律の中には労働組合——労働組合運動——の生命である、労働者の結社權、ストライキ權、團體交渉權の如きを初めとし、ピケット權ボイコット權、組織權、（労働組合加入の自由）組合員たることに依る解雇の制限、労働組合の財産所有權、ストライキ基金及給付權、政治行動の自由、聯合組織の自由、労働協約の強行性等が法の構成要素として居るからであつて、總ゆる労働組合運動、換言すれば労働者階級それ自體の生命を擁れる法律であるが故である。

現在の法律秩序は財産法を以つて骨子とするローマ法にその基礎を置いて居るものであるから、從つて財産を所有する資本家の物質的權利は、總ゆる現行法制の中樞をなして居るが故に所有するものの權利は極度に擁護されて居るのである。之に反して何物をも所有せざる無産者たる労働者階級は、この財産法の下には本質的に何等の利益がなく、著しく從屬的地位に退けられた儘となつて今日迄來たものである。

然し近代労働者階級は、斯くの如き不利益なる地位に放置されるを不利とし、所謂無産階級の解放なる叫びを擧るに至つて労働階級の組織的擡頭は日と共に昇天の勢ひを以て進行しつゝある。從つて社會的一種の現象は、この新興無産階級の状勢を無視して考察することを許さなくなつた。殊に法律の制定等には、甚だしく、この状勢の反映を見るに至つて、所謂法律の社會化が稱へられ、法的概念の再構成が論ぜられるに至つたものであるが、これ等は勿論覺醒めた労働者階級の生々しき反抗によつて一歩一歩と獲得したものであつて、されば、現今に於ては、法を制定するものも、制定されるものも決して過去の如き無智ではなくなつたのである。故に労働組合法も亦、甚だ重要なる考察と批判の對象として論議されるも故なきことではない。

元來、労働組合は經濟的に労働者階級解放の戰闘であつて、直接労働者大衆を結合團結をなさしめ、又、以て無産者政治運動支持の機關でもあることを本務とするものである。労働者階級は、この戰闘がなくては永久に賃銀奴隷として社會の進展の榮光から取り殘され、經濟的の進行は勿論、大衆を組織し、覺醒せしめ、實踐的効果ある政治的進出に實現せしめ、從來不當に無視された利益を擁護し、且つ労働者階級として社會の進展に寄與する重要にして決定的なる役割を果すことは不可能となるものである。

この意味に於て労働組合運動は労働運動の中心をなす重要性に富むものである。故にこの労働組合運動を對象とする労働組合法の制定は又重大なる意義が有するものであると言はざるを得ない。從つて労働組合法の確立こそは、諸他の労働法成立に先立つて確保しなければならぬものである。

更に、資本家階級の權利の法律的表現たる財産法に對するに、労働者階級の權利を主張すべきは、労働組合法の中心たる團結權である。であるが故に財産權に對する團結權を主要なる構成要素とする労働組合法こそは、労働者階級の利益の實質的基本的基礎的なものであつて同時に又、労働者階級の憲法的重要性を占むるものであると斷ずることが出來る程極めて重要なる法制であると謂ひ得る。

三

労働組合法の中心要素として第一義的のものは團結權であることは前述した通りであるが、單に労働組合運動に限らず、總ゆる労働者の運動の中心的事實、根本的な形式は多數の團結と云ふことに存する。無産者としてその個々は極めて弱き労働者も、多數が團結して組織を持つ時に於ては、その政治的、社會的、經濟的の利益を始めて擁護することが出來るのみならず、更に進んでは自己の立場を強調して自由なる意思を表現し得ると共に、日常賃銀闘爭の勝利、消費生活の豐富化、無産者の政治的利益の（法律等も）完全なる獲得を實現し得うるゝものであるが、これ等の根本をなすもの、即ち無産者解放運動の手段たり、方法たり、力の根源たるものは團結であるから、労働組合法の構成要素としての團結權の確立、有無乃至その程度は労働法全體の趨向に深く關係する契機である。從つて團結權の意義を判つきりと規定することは労働組合法の構成要素の爲めに第一義的のものである。

而して團結權の性質は正しき意義として第一に指摘されるべきは、團結權の持つ不可侵性であり、第二には團結の組織性とも謂ふべき權能の確認である。第三には團結權の完全なる意味の實踐性であるが、この三つの要素に何れが一つ缺いても、法律化された團結權は正しき意味に於て團結權の名に値せぬ團結權である。

勿論、この三つの要素と雖も正しくは結局一の團結權となることであるが、この三つの要素に就ては猶は現在の労働組合法案を對象として論じて見やうと思ふ。然し豫定の紙數に近づいて來たので本號に於ては、此處で一と先づ筆を休むこととする。（未完）

進め戰闘歌

（一）黄金によろほへる
資本の牙城は固く
壓制に傷みつゝ
吾等の鐵鎖はきれず

折返し

いざ進め〱
農村に工場に
突喚の聲高く
闘ひ今やせまる

（二）○○の雲切れて
罪悶夢は醒く
黎明の鐘のもと
ブルヂョア挽歌ぞ響く
（前節繰返し）

（三）立上れ同胞よ
正義は今ぞ燃ゆる
○○の日は近く
未來は吾等のものぞ
（同様返し）

（四）振りかざせ赤旗を
よろこびの聲揃へ
民衆は野に山に
凱歌を今ぞ擧ぐる
（同様返し）

赤旗の譜

創作

ある教誨

中島安太郎

硝子を見ろ！まるで氷の花だ。壁の冷たいこと、夏なら無茶に暑さの為熱し切つてゐる窖のセメント壁がまるで氷づけの石壁とつくりぢやあないか。

また來る日もまたくる夜も俺は單調なこの房内生活を強制され切つてゐるのだ。思ひは千々に駆け廻る、今年の雪は五尺ほどしかつもつてゐないな。みんなはどうしたろ、達者でゐるか知ら――も蜂の頭もない、それこそ薄情な奴等だ。何だ彼だと云つてゐながら俺が囚はれるとなると、塵紙一枚差入れることもしなかつた奴等だ。それでも俺はなつかしい氣持におそはれるのだ。堪え難い程の空腹、胃袋の存在が凡そこれ程はつきりすることがまたと何處の國にある。おゝ寒い。ああ冷たい、指の先耳手と云はず、足と云はず針で刺して見てゝ痛くも何ともない、そしてその色だ。死人の色だ。腐れかゝつてゐる。畜ッ！。何が何だ。起床だ、苦しい一日の作業時間が始まる

そして今日はお正月の七日だ。社會にゐた頃はあゝ、一昨年の正月までは今日小豆粥の雑煮餅を食はぬ年とてなかつたのだ。正月の七日だ、佛壇の供へ餅の下る日だ。餅！餅！何と云ふ悩ましい、うまいものの存在だろう。村山次郎は一九二二年の正月七日の六時頃〇〇監獄の第一監第三房でこんなことを考へてゐたことは確だ。そしてその日は日曜だつたので例によつて、教誨のある日であつたので、村山はそれが果敢ないながらも一つの樂しみであるとしたものである。全くそれがどんな馬鹿らしいものであるとしたところで一間に九尺の房内へ閉ぢ込められたまゝたつた一人の生活なぞは村山だけではなく、みんなのものだつてむしろ恐れてゐるのだ。新入りが體験する分房生活二箇月の痛苦、工場作業場等で悪い者とされると投込まれる分房。誰だつて嫌だ。

かすかに何處かへ朝日の光のさす頃だ。ガチヤンギイイと扉が開いた。

「教誨」と看守は投るように云つてはまた次の房を開いてゐる。村山はおどり出た。教誨堂と中央見張とは兼ねられてゐて正面には佛壇が三尺高いところに出來てゐた木像の阿彌陀如來は眞黒に見えて像の前後の造作が金色燦然として輝き佛壇は貴いものと村山にさへも思はせることが出來るようになつてゐた。教誨堂は赭衣の囚人達でいつぱいに埋められた。

その日は典獄は留守だつた。一種異様なリズムが起る

我超世の願を建て
必ず無上道に至らん

……

此の願滿足せずは
誓つて佛道を成ぜず

……

虚空の諸天人
當に珍妙の華を降らすべし。

鉦の音。

有名な大經の中の三誓の偈と云ふものであると云ふ。全囚人の合唱である。

小森教誨師はおもむろに壇に立ち、念珠をつまぐりながら靜かに口を開いた。

皆さん今日は早正月の七日になりました。恒例によりまして今朝は小豆粥を戴いたことでありますが、此處に御座る皆様が此の一杯を口にすることが出來ないと思ふと思はず一滴の涙を椀に注いだことであります。私には今年とつて十三歳になるのと八歳になるのと二人の男の子が居りますが、今年も只一つ年をとつたゞけでは不可ないから、二人の子を呼び寄せて、正算僧都の母親の話をして聞かせ、親心のありがたさに二人とも涙を流したことでありますが、正算僧都が比叡山で學問なされてゐる時の留守の母親は今日も正算のことが思はれてなりませぬ。

もはや年暮れともなり雪さへ積んで、吹く風は身にしみていと寒い、お山で修業の我子正算は如何してゐることであろう、他所の子達は皆それぞれに親たちからのつけとゞけがあつて此の寒さにもめげず立派に學問もなされ師の御おぼえも芽出度くあたゝかい日送りをして居られるであろうに我が兒正算は貧しく冷たい日を送つてゐることであろうかと思ふと母は早眼に涙の露がポロリ――。あゝさりながら、貧乏な身の

上の何を送らん術もない。貧しい中の賃仕事のわづかばかりの金に糊口をしのけは殘りとてはなく、文字とほり洗うが如き赤貧。ふと思ひ當つた母親は何の惜氣もなく何より大切なみどりの黒髪を根本からぶつつりと切り離してしまひました。

山本教誨師の話は次第に哀れつぽく雄辯になつて來る、講堂の囚人達に勿論聲があろう筈もない。童顔と云つてい丶か年は相當だが顔の色に櫻色が加はつて、てるてると光つてゐる。あれは食物の作用なのだ、囚人の土色の顔、榮養の粗雑な安月給の看守の面などを見るがい丶。結局は衣食住の關係でしかないのだ。村山次郎はこんなことを考へてゐた、その眼には正面の佛壇、緋牡丹と金色の菊の錦の打敷が、寶物のやうに貴く光つてうつつてゐた。その前の三寶にのせて白紙の上に異彩を放つ大鏡餅の美しい存在と胃袋の存在意識——話は次第に進んで行く。

——惜し毛もなく切り取つた髪——やがてそれは一袋の米に換へられたのであります。子を思ふ親のみ心——一本の手紙を添へて、近所の飛脚をたのんで正算のもとへ傳言したのであります。見渡す限り一面の雪、白皚々たる雪路細く比叡山への道をたどる飛脚とその影の見えずなるまで見送る正算の母——やがて飛脚の男は正算のもとへついたのであります。

正算と云ふお方はこちらに御座になりませんか——はいあのう正算は私で御座いますと若い僧が飛んで出た——これは、これは、私はあなたの御母さんからの御つかひで參りましたもの、母さまには達者で、あなたの御修業をよろこんでゐられます。これなる袋はあなた樣への贈り物米がいつぱい這入つて居りまする。これはあなたへの御手紙で——と差し出せば、有難う御座ると受取つて、それはようこそ御苦勞さまなさいと、そく〳〵とたき火をする。囲呂裏にかけたる小鍋にはときたてのぴいごろみたいな米粒が煮えくりかへる。やがて御飯が出來ました。サア〳〵おあがり下さい、と精進物の有合せの御菜をそへてそれに出したのでありますーーが、飛脚はだまつて、うつむいた切り面を上げやうとは致しませんので、やあれおかしや、どらなされましたい、氣分でもお惡う御座るかと聞けばかの飛脚、ぼろり、ぼろりと涙を流して居るのであります。御僧でも煩う御座るか——おもむろに顔を上げた飛脚の男、いや〳〵氣が、惡うは御座らぬ、至極、達者で御座るが只なんとのう勿體のう御座つて涙が出申す、それやあいかなこと——されは、あなたにはそのお米が何ともたゞのことゝ思召すかも知れませんが、それは私が知つて居ります、他ではないが、あなたの母樣が學問修業を勵めんため何か仕送りをいたしたいと貧しいみどりの黒髪を、ぶつつり切つてかもじ屋にうり、その米を買はれたので御座ります。さすればこの米、この御飯の一粒、一粒は、母樣の一本一本の髪の毛ぢやと思ふと勿體のうて、口にすることが出來ませんとの物語り、これを聞きました正算僧都。なる程左樣で御座りますかと供に涙を流して親心の廣大さに感激し益々勉強なされたとの話をいたしまして、と山森教誨師は我に還つたもの丶如く——私の二人の子供も涙を流して聞きましたが——それにつけても、此處に御座る皆さんが、この親の慈悲と惠みの貴さを御忘れなさらずは——水をうつたように靜まつてゐた講堂の内部にこの時から時々の息吹きが聞こえ始める。カタコト音をさせるものがある。村山次郎は妙にセンチメンタルな氣分、何となく淋しい自分を靜かに見出した。T縣の代表的社會運動の志士を以て任じてゐた村山。

白皚々たる比叡山への道をとぼ〳〵とたどる飛脚と、その貧主の母の顔がまぼろしのように頭に浮んで來る。いつの間にかそれが自分の母の顔になつて來る。正算の母の思ひが俺の母の心の中に何でなかろう。現實を見よ、彼は僧、我は今、彼は學徒、我は受刑者——それでありますから皆さんも今日を機會にして立派な人として國家社會の爲の本分を盡し、と山森教誨師は論を結んで壇を降りる。そして阿彌陀の黒い木像に合唱禮拜して靜かに退場する。輪袈裟の金襴が光る。看守長の金モールが、これ見よがしに佩劍をガチャつかせながらその後へ續く。

脊の高い部長は立つて呼ばはる——分房——ガチ〳〵ふるへながらコンクリートの光る冷たさを走りながら二監へ！といふ聲を背にして房へ他の囚人共とまたぞろ〳〵扉をしめて這入る。便器の上へあがつて窓をのぞく。

北日本の空は紺青に晴れてゐる。あゝ深い空の色。すが〳〵しい氣分になれる。さわやかな空氣の流動。日はすでに高む。雪は銀色に光つて見へる。區切られた四角なまどよりの限られたる展望——あゝ自由！自由。

——一九二八・一〇・六——

「やきとん」いぶろ

北深

◇

春を賣る、女の白い、夜の街
なんか食ひたい。
なんか飲みたい。

◇

やきとんのいぶろにほい
胃ぶくろに
しみ渡る醉り、かなしも夜更け。

◇

しやべるの土の、落ちた鐵の
ひんやりな
鐵の光りに、やきとんにほふ。

◇

支那そばの、笛のかけに
かくれる女の
白い顔、豚の樣に太かつた。

◇

此の腹さへなけれは俺は
元氣だに
腹のある裕に、腹がへるんだ。

◇

豚の樣に太つちよな女が
俺をさへ、たんなと呼んだ。
俺もたんなか？

◇

電車に乘つて、俺もこれだけになつたかと。
思つたもんさ、ビラまきの朝

◇

車屋さんが、もつたいもない
たんなたつて、俺を呼んだ
かつれた俺を。

◇

市場、人間の市場、疲れた男
今日一日の
力賣る市場。

彈壓政治の忠僕達

—パントマイム—

李 貞 植

一

客室——宴會場

宴會場は勞働者と農民から搾り取つた金で思ひ切り贅澤に飾られてある。

其處には酒宴が準備され、數人の血太りした紳士連と將軍連に依つて一切の人民の自由が蹂躙される。

紳士達はシャンペンをあほり、女と抱き合ふ間も將軍連を操ることを忘れはしない

將軍連は紳士連の吸ひ殘りを頂戴すること、よだれをたらすだけで恐縮の體。

彼等は紳士連の操りに甚た從順た。

似合はぬ和服姿で御用振るのにせはしい相愛會の幹部連。

共處では飲むこと、、食ふこと、、抱き合ふこと、が全部なのた。

將軍の一人が胸にぶら下つた金鵄勲章を撫でつゝ挨拶、一同乾杯。そして手と足とを合せて叫ぶ。

— 殖民地民族の永久的○○化!(幻燈)

——山梨新總督に幸あれ!

山梨抱負を述べる。(全部幻燈)

對朝鮮殖民政策

1 日本のブルジョアジーは痩衰へた朝鮮を搾取するのに狂奔した。

2 齋藤總督は一方軍隊と警察の「文化政治」を以て朝鮮民族にのぞみ、他方さうすることによつて血太つた紳士連に愛嬌を振撒くのに忙殺されてゐた。

3 たが今日、それは餘りに舊式過ぎる

4 總てはより積極的により合理的に!

紳士連と將軍連の拍手喝采。

(山梨抱負談を終へて頭をペコ〳〵下げ乍ら紳士連から紙幣束を、將軍連より鐵砲を貰ふ)宴會場では拍手と拍手に抱合と抱合に、乾杯と乾杯に終る。

この時街道では、食と仕事を奪はれた勞働者と、耕すべき田地より追出された農民と、バラックより叩き出された無産市民との足並が整ひ初める。

宴會場内の紳士連と將軍連に一聯の暗影が現はれる。

—暗轉—

二

舞臺暗轉

無臺は朝鮮た。殘虐な搾取と非人間的な酷使が白晝公々然と演じられる一九二八年の殖民地た。

抑壓する一切の殘忍性の發露と虐げられたる朝鮮民族の悲慘な叫びが溢る、半島た

「赤き朝鮮」を○○○○と○○○とで掻き消さんと藻掻く將軍と紳士連。

大砲と機關銃を引摺り廻す○○○○○○の軍隊。

鐵砲とサーベルと泥靴で民衆を踏みつぶす○○○。

教科書と口と鞭とで若き學徒を欺瞞する教授連。

彼等は何よりも「恩給」がふんだんなので誇らかた。

懊惱に鳴り渡る「鞭の脅威」と神經を削るかち合ふサーベルにおぢけつゝ奇妙なポンプを動かす勞働者。

そいつは二本の管を持つ。一本は紳士連の太つた口に、他の一本は自分自身に。

多くのポンプを啣へてみる〳〵肥へ往く紳士連、

それとは正反對にポンプを動かせは動かす痩衰へる勞働者達。

彼等は疲れ果てた故に鞭打たれ追出される。「搾取機」の前に打倒れる女工達。

土地は剝がれ叩きのめされ追ひ廻される貧農。

幼き孫娘を背に乗せて鞭の下を潛り歩く「ハルモニ」(祖母)

後手に縛られて引摺られて行く學生。

○にされて○○される女學生。

空腹を押へて「七千五百萬圓の○○○○」を怨む無産市民

十二才の少年はスパイに「保護」されつゝ追廻される。

これ等被虐者達は堪へ難き呪咀と憎惡に燃えていきり立つ。

たがそれ等は再び、鞭打たれ、蹴飛ばされ、踏みにじられることに依つて「治安」が「維持」される。

原稿募集

本誌は、農村や工場で、汗とほこりにまみれて働いてゐる勞働者、農民諸君の手になる一切の原稿を求めてゐる

無産運動の言論戰鬪を手の白い人達に任せる様な事があつてはならぬ。そんな事では何時まで立つても、合同をこうする、こうすると論文に書いて、原稿料の種にする所謂學者先生を喜はせる事以外何んにもならぬのた。合同論も、ほんとうに合同を求めてゐる、勞働者農民俸給生活者が叫はなければ一歩たつて進展しないのた。

◇

本誌は勞働者、農民諸君の言論機關として正に絶好のものである事を確信してゐる。文章の巧拙は問はない。しかし寄稿されん事を望む。原稿はなるべく四百字原稿にて、丁寧に書いて貰ひたい。締切りは毎月十日進め社編輯部宛

「彈壓政治」の忠僕達の亂痴氣騒ぎと被虐者の「鞭の壓制」に對する抗爭との中に薄暗き朝鮮は「全面的鬪爭」へと明けて往く。

—暗轉—

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想郷を造らんとして
支那革命に從ふ（五）

福田狂二

馬上の劉狂民

官軍の陣容

我が南京城を攻める寄手の大將は、當時四百餘州に敵なき張勳であつた。彼の齡すでに六十なりしも精悍無比、驍勇並なき人物で、彼の配下には山東兵多く、土匪あがりで大戰少戰幾多の經驗があり、戰場生き殘りの强兵である。亦、彼が滿州にをつた事があるので、配下の將校は馬賊上りのものが多かつた。

由來山東の兵は軀幹偉大、忍耐力强く、支那の軍隊では他省の兵三十人に匹適すと云はれてゐる。加ふるに、張勳は部下を愛する事最も厚く、身を修むる事深く、彼の爲めに死せんと欲する士卒は全軍であつた。武將としての美點を具へてゐた。

私は彼を日本の上杉謙信の如くに思ふ。智略は足らなかつたかも知れないが、猪突猛烈的軍人であつた。故に當時、彼は百戰百勝、天下無敵、彼の向ふところ敵はなし。て敵が逃げたと云はれてゐる位だ。彼は戰時において掠奪强姦を許してゐる。それで兵は戰ひに勇んで行くのだ。それから。張勳は思想は古いし、其の當時においてすら辮髪を組んでゐたくらひだ。人或は彼の軍が逃げると先きを爭つて逃げたものだ。

此の張勳の外に馮國璋、徐寶珍の軍が來てゐた。張勳軍は二師、約一萬五千、徐寶珍軍約一萬、馮國璋軍約一萬二千、總計三萬七千であつたが、支那式の宣傳によつて十萬と稱せられてゐた。

嫡言蜚語

いづれの戰爭においても双方の實力は分るものでは無い。味方の事でも、軍の全體にわたつては司令部より外は分らない。うまく連絡を取らないと司令部でさへ分らぬ事が多い。大きな戰爭になると、右翼が勝つて、左翼が全滅してゐる事さへある。戰爭といふものは、一か擲か、生命を的の大賭博だ。そういふ狀況にあるから、一寸した人の云つた事さへ、恐れたり驚いたりする。戰術の一つとして、それで敵を偽り、虚勢を示し、敵の作戰を攪く爲め嫡言を放つ事も必要なものだ。日本においても最近社會運動の仲間においてこの嫡言が特に放たれてゐる。殊に日本共産黨といふ一派はこの嫡言をもつて第一の戰術と心得てゐる。評議會やその他自分の方の團體を百倍も二百倍も誇張して云つて、他の組合を犯す樣な事が多くあつた。これらの戰術は矢張り支那から出たものであらうか。

三國誌を讀むと、魏曹操が百萬の兵を率いて云々の事がよくあるが、百萬なんといふ兵は、よし兵があつても、武器もあるものではなし、亦食はせておく事も出來るものではない。多分、二三萬の兵であつたらう。

討袁總司令部の參謀長も、嫡言を製造する事においては敢て人後に落ちるものではなかつた。わが二萬三千計りの兵を、三十萬と稱したり、五十萬と稱したりアムストロング砲が一千門あるとか云ふホラも吹いたり、或ひは味方の兵まで欺いて、こういふ事をよく云つた。これは味方を欺けば敵を欺く事が出來るといふ古いやり口ではあるけれども士氣を鼓舞するには[illegible]た力があつた。支那の軍隊は大砲には恐れてゐて、大砲が澤山あれば、戰ひには必ず勝てると思つてゐたらしい。

又、私が南京に着いて、總司令と共に殺された陣師長を訪ねて獨立をすゝめた時も戰費が三千萬元來るといふ大ホラを吹いた。亦、城内の目抜きの場所に野砲を引かせて歩いた。僅か十五門の小つぽけな野砲を一日に兵を代へて何回となく同じ所を運ばせて人民に砲が何百門もある樣に見せかけた。それで人民は今度の革命軍は武器は豊富だから必ず勝つであらうと安心して了つた。

又、彈藥なども、わざわざ南京の大通り、市民の交通頻繁な所を運搬させて見せたものだ。同じものを、同じ處を何十回となく運ばせた。尚ほ、城外の人民の前でも試みた。それから、下關といふところの揚子江通ひの船の着く所でも虚勢を張つて見せた。又上海に人をやつて上海の新聞に對して宣傳をやつたものだ。この嫡言が、突

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

拍子もない大きなものになつて了つて苦笑した事が度々ある。守兵百萬、南京の三分の一の空地には彈藥が満載されてあるとか、又日本、佛蘭西、米國の軍艦が武器を南京に運んだとか、或ひは、湖南から米を送つて來たとか、最も滑稽なのは、官軍が城外で皆殺しになつたとか、孫逸仙が廣東の軍を五十萬連れて應援に來るとか、種々擽つたい樣な可笑しい婚青猪語が起つたものだ。

こういふ風では、官軍も恐れて仲々迫つて來ないで、浦口附近で軍を休めてゐた。

革命軍の訓練

私は今の革軍をとても満足する事が出來なかつた。それはすべて訓練が足らなかつたからだ。婚青猪語ばかりでは戰爭は出來るものではない。一時的には敵を欺瞞せしめる事は出來るけれども、實力のない婚青猪語は、反つて自らを早く亡ぼすものである私は敵のおし寄せない間は毎日教練をさせた。實彈射撃は、金もかゝるし出來なかつたけれども、毎日、團長を督勵して白兵戰を、即ち突撃を盛んにやらせたものだ。又砲兵は、砲があつても、擊ち方もロクに知らぬし、知つてゐる者は僅に二三人よりゐなかつたから、これでは戰爭が出來ないし、私が手に取る樣にして操法を敎へてやつた。步兵も、砲兵も、約二十四五日の間は、私が監督して猛烈な演習をした。

ある時は、一日食事も食はずに馬上で終つた事もある。翌日から、握り飯をポケットに入つて行つた。突撃の時は私も一方の軍の先頭に立つてやつた。餘り熱心にやつたから、突撃の際馬が兵を嚙んだ。その兵に二十元の治療代をやつた。支那の將官は、現在でもそうであろうがその頃は兵卒と餘り口もきかなかつたものだが、私は親く兵卒と交つたから、私の人氣は素晴しいものであつた。

又私が銃劍術を敎へてやつた。私の銃劍術は日本にありし昔から、自ら世界一の劍士と自惚れてゐたくらひだから、支那兵の敎官としてはもつたいないくらひだ。一個聯隊を整列させておいて型を敎へる。そして、一個聯隊に號令をかける。銃をもつたものもあるし、木銃をもつたものもあるし、それも無いものには竹をもたしたものである。それから、その聯隊には防具（面、胴、小手）が十組ばかりより無い。私が、兵を相手にして稽古をつけてやつた。

ある日は、三十本位仕合をした。又、十人の兵に木銃をもたして、私は防具なしで五分間に十方より來る十人を打倒して兵を畏服させた。

この銃劍術は今でも私には自信がある。木銃一本握れば、劍道の五段や六段の人が五人や七人來ても突伏せる事も易々たる事である。

參謀總長が木銃をもつて、仕合をする、正に天下の珍とすべきである。かくの如くして、全軍を訓練した。その進步効果は、日本の兵よりは、著しい樣に思はれた。その速成科卒業生の革命兵が、如何に戰つたか。私は今でも、往時を思ひ出して、彼等が私の命を奉じて善戰した事を感謝せずにはゐられない。

守備盡くそなはる

南京には、大門が四つある太平門、朝陽門、通濟門、儀鳳門、この門には步兵二營（二大隊）をもつて守備につかしめ、富貴山、獅子山、天保山に砲壘を築いた。いづれも、間に合せに作つたもので、煉瓦で築いて土を運んだくらひのものだ。砲は七珊野砲各二門を備へた。その外に臼砲も十門ばかりあつたが臼砲といふ大砲は百貫目程より無いもので四人程の人さへあれば車に積んで走る事が出來るくらひだが步兵戰には中々有効なものだ。眞鍮で作つたもので、大きい加農砲に比較すれば蓮根パイプに等しいものである。

都督府には、第十師が守つてゐる。滬寧鐵道の停車場には、步兵一營をもつて守備し、機關銃十門、臼砲五門をそなへて、嚴しく乘客をしらべた。此處は上海との往復の頻繁なところだから、特に嚴格にやつた。

城外との交通は、全く遮斷して了づた。その頃、敵の間諜三名が、太平門と通濟門の間から城壁を越へて入らんとした爲めに、守備兵に打たれた事があつたとの話だ。

もう、南京は蟻の這入る隙もない。これで南京の守備は完備した。支那第一の驍將張勳よ。來らば來たれ。わが軍の武勇の程を示さんとまち構へた。その頃、江西省から米が四百萬石來た。上海から、金が百萬元來た。小銃彈が百五十萬發來た。これは上海から來たが、英國の船が備つて運んだものだ。これだけの彈丸があれば、優に三ケ月を支へる事が出來る。各省の同志この期に獨立し、中國革命は完成せんと、參謀總長は悦に入つた。それから、左の告示を發表した。

告示

われ等、此處に革命義軍を起し、逆賊袁世凱を倒し、以て中國革命を完成し、人民による政府を作らんと欲す、而して四億萬の生命を救ひ平實の道を實踐せんと欲す。庶民安堵して職に就けよ、又、金ある者は金を以て助けよ、力ある者は力を以つて我等の軍を助けよ。江寧府は今省革命軍の總司令部を置くところ、亦秩序を維持し、異背するところなく、我が革命軍の軍政に從ひ、各々業を勵むべし。我等誓つて庶民の生命財産を守護せん。此處に告示す。

討袁軍總司令部

民國三年七月

一、盜賊強姦なせし者は斬に處す

一、略奪せし者は斬に處す

一、敵に内通せし者は斬に處す

人民は皆革命軍を信じて常の樣に商賣をした。私が夜三人の從卒をつれて乘馬で各

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍隊を巡閲した時、夜でも皆店を出して繽々として居る樣に見えたし、青樓では、歌者が胡弓をひく音がしてゐた。
哨兵なども、決して眠る者も無く、又位置を離れるものもなく、軍規厳然として整ひ、獨逸の軍隊を見る樣な氣持がしてうれしかつた。

通濟門の戰

七月三十日、朝からボツボツ雨が降つて來る。司令部には、敵兵が通濟門におし寄せたとの電話がかゝつて來た。私は、日本の殿上りに登つて來た參謀總長ではない。諸軍を指揮するばかりでなく、前敵を突破して敵將を捕虜とする元氣をもつてゐた。二十七才の參謀總長たもの、外國の七十才ぐらひのヨボヨボした參謀總長とは違つてゐる。これは私の性格たから仕方がない。由來、支那の革軍の領袖連は、謀を帷幕の中にめぐらすといふやり方で、戰爭の出來る人は少かつた。そんな事では、革命軍が指揮できる筈のものではない。

私が陣頭に立つといふ事は、參謀總長の體職を忘れて、餘りに輕々しい樣だが、實際、支那の兵をひきいて戰ふには、これぐらいの事をして見せなければ戰爭が出來るものではない。

私が行つて見ると、通濟門の上からわが軍が、しきりに打つてゐる。私が墜上から頭を出すと、敵の敢死隊（決死隊）約三營（三個大隊）が四丁餘のところへ迫つてゐる。と、目の下の門外に一人の便衣隊がスコップをもつて土を掘り返して居る。私は驚いた。敵が城門を爆破せんとする事に氣がついたので、腰につけてゐたモーゼル一號拳銃を出して撃つた。彈丸は背から貫通した。この拳銃は一千米突の人馬を倒す偉力をもつてゐる。それから、其處を守つてゐた第二十九團長と相談して城門を開けた。城門は入口が十間あつて厚い鐵板で張られてゐる中には砂嚢をうづ高く積んでゐる。城外から見ると中には守備兵が一人もゐない樣に見えた。しかし、機關銃四門が、門の兩側に据へつけられて敵軍の入來をまつてゐた。私は、城門の上の銃眼から敵の來るのを待ち構へてゐた。

約三時間程すると彼等はおひおひ近づいて來る。わが軍は一發も打たない。三十間程來た時に、私のモーゼル銃は發射された。これが合圖で機關銃は城門に出づるや否や亂射された。約十分間の間に、敵兵は殆んど倒れた。そして、我軍は行つて負傷した兵を捕へた。約二千五百人の中、生殘る者僅に十一人、その中で、負傷しなかつた者が二人ゐた。直に十一人は捕虜にした。二三名は走するものがあつたが、直に射殺された。その際私の目についたものは、我軍の兵卒中に死體から金を探してゐる者であつた。金の多くは軍票であつたが中には、露清銀行の五圓札や十圓札をもつてゐる者もあつた。或る兵は、死體の背負つてゐる掠奪品を又盗つたものもある。

私はこの事を、別に罪惡たとも思はなかつた。

そして死體の側にある銃劍を皆城内に運ばせた。拳銃をもつてゐる者が五六人あつた。後になつて調べて見たが、その銃で二千百丁ばかりは怪我をしてゐてゝ使へる銃であつた。私が一番最初に城門の上から撃つた支那人は、すでに息は絶へてゐたが、顔をおこして見ると、十六七歳の眉目清秀の少年であつた。

其の掘りつゝあつた穴には一尺四方の箱があつた。それは、炸彈であつた。最も、強烈な火藥が包藏されてあつて門を破る爲めであつた。私はこの少年の勇敢を心ひそかに賞したが、彼の死に對して何等の同情もおこらなかつた。

これらは、私が悪いのでは無い。戰場では誰しも、こうなる事であらう。戰といふものは、生命の取り合ひた。生命をかけての賭博たから、皆、血眼になつて人情も何もあつたものでは無い。敵を早く殺せば勝つのみならず、自己の生命を完ふするものたもの、又、素人の知る事の出來ない境涯である。この戰において我軍の負傷者は只一人たけであつて、直に病院に運ばれたが、機關銃創たから二十日ばかりで癒つた。私は病院へ此の兵を見舞に行つた事がある。

私は、この日は、第二十九團の隣りの料亭で、李俊團長から御馳走を受けた。其處に總司令部から、何上將が、一個少隊程の兵をひきいて來た。そして、團長は、この戰ひの結果を報告したところ、雀躍りして喜んだ。南京の第一戰は、かくの如くして勝つた。

續いて幹部の將官が皆この事を聞き傳へて、集まつて來た。皆で司令部に歩き乍ら歸る途中、祝盃を擧げんとして、東堅樓とか云ふ料亭に上り、酒を命じた。樓上や、料理を運ぶ使丁は私の顔ばかり見てゐる。そして、私に最大級の敬禮をする。この日の戰ひが、最早、南京全市に傳へられたそうた。

ある佐官が、私に向つて日本の白浪庵滔天先生には一度會つた事がある。先生(私)と滔天先生は世界の二大革命家たと御世辭を云はれた事は今でも覺へてゐる。此の滔天とは、宮崎寅造氏の事で、宮崎龍介氏の實父であつて、三年程前に死んだが孫逸仙が初めて旗を上げた惠州事件明治三十三年頃から、支那革命を援助しておられた。支那の革命黨で、白浪庵滔天を知らぬ人は無かつた。

諸將はよく呑み、よく歌つた。夜の更けるのも知らないぐらひたつた。私は、あまり酒を呑んではいけないと戒めて、前に立てる兵士三十名ばかりの者に守られて、都督府に歸つて寢た。一旦床に入つたが再び起きて、今日私を護衛した衛兵を集めて、銀三十元を渡して、君等もこれから一杯呑めと言つた。

この戰ひは、南京革命戰の序幕であつたが、これから、幾十の戰ひが起る（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

昭和三年終る。顧みて多事多端の年であつた。田中反動内閣が厚顔にも足場を据へ、無産階級に嵐の如き弾圧を試みた年であつた。来るべき第五十六議會においても尚彼等は、憲政一新會、床次一派に渡りをつけ、反動豫算を通過せしめ、欺瞞的社會政策の言を弄して、凱歌をあげて、新しき年を迎へんとしてゐるのだ。

吾等は屈辱の昭和四年を迎へてはならぬ。田中反動内閣を倒し、内に無産運動の種々なる障害を撃破しなければならない。

◇

無産政黨の合同論は愈々白熱化した。佐藤護郎氏、板倉巳一氏、南三平氏の諸論文、讀者諸氏の批判はあくまで自由である。筆者も討議、批評を望んでおられる。排すべきは排せ、採るべきは採れ、あくまで階級的に進まねばならない。

◇

日本無産青年同盟準備會の結成を見る。あくまで統一的青年同盟の爲め努力するとの事である。その爲め、階級的に政黨中立をもつて臨じろしとなし先づ青年同盟の統一をなし、進んで無産黨の合同にまで邁進すとの聲明、吾人はその成功を祈らざるを得ない。

◇

御大典も愈々無事に終つた。大阪進めの吉田君は一ケ月ばかりの拘留を受けて、今尚呻吟してゐる。吾人は警察の狂態に呆然たらざるを得ない。

今年初頭、同志赤尾は○○に奪はれ、今や同志上杉も○()に奪はれんとしてゐる。然も同志赤尾は、ミリタリストの専制の下に一年の懲役を受けてゐるのだ。

ミリタリズムより青年を救へ、支配階級の魔手より、鐵鎖をたち切れ、不當拘留には絶對反對た損害を國庫より負擔しろ。

進め研究會に参加しろ

友人を誘つて一人でも多く出席せよ

◉**十二月一日は午後六時から**

第四回研究會だ

◉講師は日勞黨調査部長　**清水武雄氏**

◉問題は時局經濟問題

◉場所は進め・本部

分らぬ事を準備して

進め研究會に参加せよ

◇

進め社・部は別記の如く移轉した。進め座談會、及び研究會を續々として行ふつもりである。希望者はどしどしハガキをもつて通知されたし。期日を報告する。

去る十一月十九日には三輪壽壯氏を聘して座談會を開いた。十二月一日には、別記の如く清水武雄氏を聘して、經濟學の講義を御願ひする、希望者は誰でもよい。どしどし押しかけて下さい。

◇

先月の豫告の通り、元の四六倍版を十錢にした。この際、支局を募集するから、別記規定に從つて大いに讀者網を張廻してもらひたい。同時に戰報ご寫眞を必ず忘れるな。

◇

農村より、工場より、事務室より、店頭より、野より山より海より、潮の如きかん聲をあげて進めを守れ、退くを知らぬ、「進め」の氣持で新しき年を迎へようではないか。「進め」は吾等の戰闘艦だ。機關銃だ。大砲だ。要塞砲だ。

田中反動内閣をぶち破れ、治安維持法を撤廢しろ、ブルヂョア議會を解散しろ、いざ、喊聲をあげて新しき年へ

◇無産者の希望と行動の出發點は本書から生れろ！

途を誤るな理論を以て武装せよ！

山川均　**資本主義のからくり**　價 .30　送 2

本書の内容は先輩に聞け。誰でも一度は讀んでゐる。資本主義機構の完膚なき解剖だ

栃木縣議 石山寅吉　**惡税撤廢の叫び**　價 拾錢　送 貳錢

著者	書名	價	送
河野密	一生の經濟學	十錢	二錢
堺利彦	社會主義學說大要	三十錢	二錢
田所輝明	無産者經濟學	八十錢	四錢
ブハーリン	史的唯物論	一圓	六錢
猪俣津南雄	日本無産階級運動批判	十錢	二錢
荒畑勝三	勞働運動と理論闘爭	十錢	二錢
レーニン	左翼小兒病	三十錢	二錢
同	何をなすべきか	一圓	六錢
山川均	私は此ふ考へる	二十錢	二錢
同	新方向轉換論	三十錢	二錢
杉山元治郎	農民組合の理論と實際	一圓	四錢

◎その他種々目錄請求要二錢

濱野末太郎　**税金と無産者**　價 拾錢　送 二錢

全農委員長 杉山元治郎　**農村振興策の徹底批判**　價 .10　送 2

田中反動内閣の大看板農村振興策即農村搾取策の徹底的批判、正體曝露 地主資本家の政府にたまされるな！

△送金は振替を必ず利用すること
△註文は必ず前金のこと。切手は一割増のこと
△多數注文は割引す問合せは凡て返信料を

出版取次　東京市芝區二本榎西町二番地　**農民勞働社**　振替東京七六二七〇番

解放の理論なくして解放はない！

◇たまされたら孫の代までいぢめられるぞ！・本書は農民組合員に限り送料不要

週刊 月二十圓 一年二百圓

日本社會運動通信

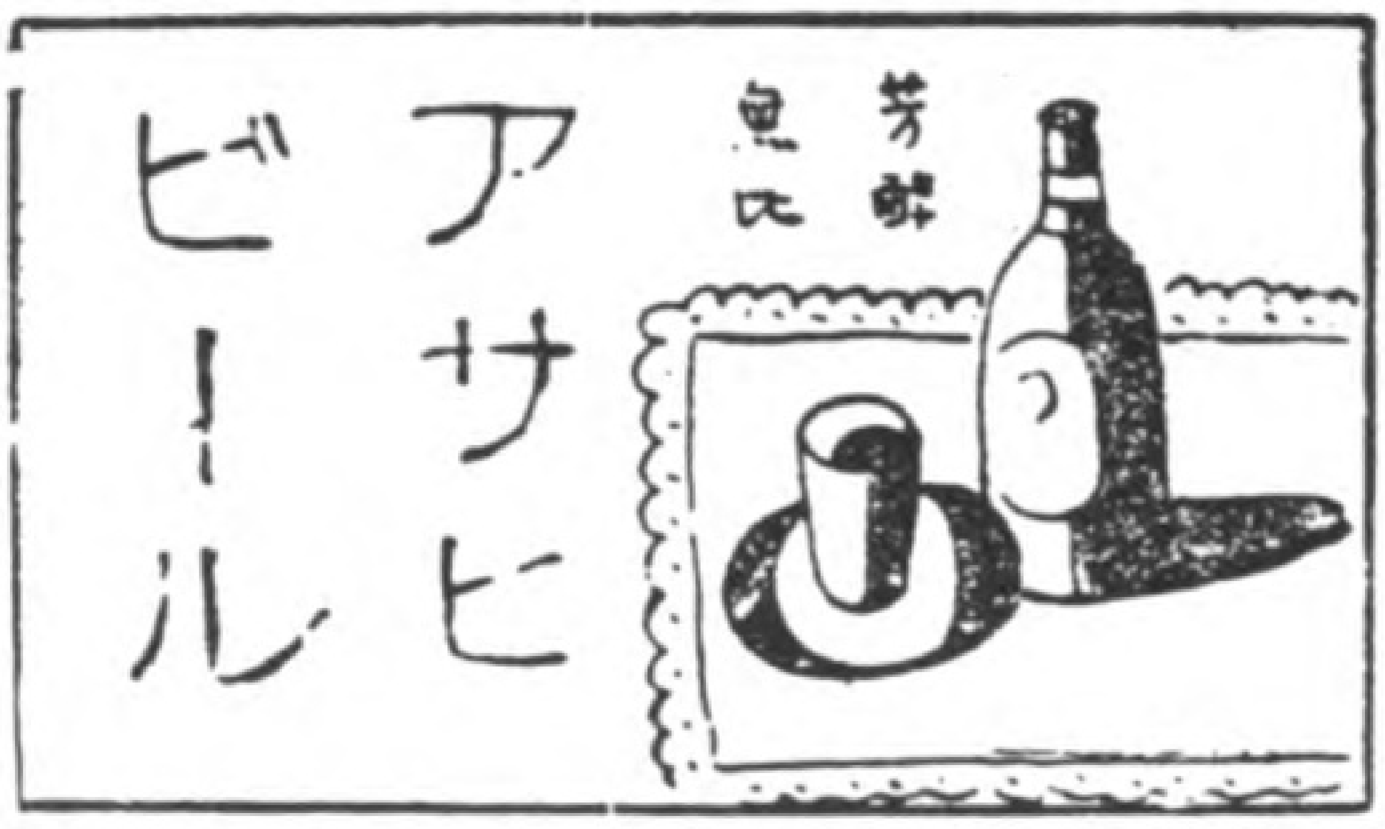
發行所 東京市麹町區内幸町一の五 中林ビル内
日本社會運動通信社

喜谷實母散

大黒

粟おこし
福おこし

大阪 あみだ池



解放群書
□毎月壹冊刊行
但三冊に一冊は禁止
□壹冊壹圓
□送代壹冊拾錢
◆印半額版もある
◇石川世界社會運動史
◇岡氏日本社會運動史
◇佐倉氏「女工虐待史」
◇山内「社會思想解說」
◇英國婦人勞働運動史
◇守田世界革命家列傳
◇尾瀬「革命藝術大系」
◇「地及憲兵火水巡査」
◆綜輯大家傑作集上下
◆名家論集二冊第一干
◆幸徳全集上「名文集」
◆幸徳全集中「藝術集」
◆中西傑作「武左一揆」
◆神近市子女史傑作集
◆小川未明氏傑作選集
◆新居格氏傑作選集
◆山田清三郎氏傑作集
◆青野季吉隨筆論文集
◆近藤露國革命運動史
◆「古今東西理想郷軍」
◆新興消費組合虎之卷

解放

月刊半圓但群書同様
三月一回の割で禁止
完讀希望者は要前金

◇東京芝區新櫻田町十九
◇振替東京二六九四四番
解放社

特
◇日記年鑑顧問官◇萬人必携贈答用
◇注文殺倒將絶品◇勞農工商大至急

解放社 價半圓(送料共) 四年版

大衆年鑑日記

長
◇便利重寶御經濟◇美裝堅牢第三種◇
◇辭典懷中活動的◇机上便覽大衆品◇

『解放』十一月
『年鑑日記號』
【日本大學】

1 年鑑
◇四年東西陰陽暦◇
◇郵便小包電報料◇
◇世界各國度量衡◇
◇金利年令御歴代◇
◇世界大衆運動觀◇
◇日本大衆運動觀◇
◇大衆團體現勢解◇
◇政治經濟組合論◇
◇國勢統計中百頁◇
◇團體名簿約二千◇
◇歴史年鑑二十頁◇

2 日記
◇新案日記滿壹年◇

3 附錄
◇大衆法律千原則◇
◇大衆法律年別表◇
◇各種稅則圖解表◇
◇大衆法令約百頁◇
◇必讀書籍目錄表◇

半円版

各國社會運動史全集

◇以後廣告せず
◇時々禁止の虞
◇完買全納五圓
◇月刊全十二冊
◇英獨佛伊(西)日支殖(民)印中北(歐洲)(諸國)露◇
◇米(南北)東(亞巴)(爾幹)(各國一冊)各參(百頁内外)(專門家分)担(一年四)完結◇

口腔科 消化器 仁丹

○齒の爲に一番よい

仁丹のハミガキ

小粒仁丹

◎高貴薬サフランを倍加して特製す

大粒仁丹

日・英・米・佛 専賣品 仁丹歯ブラシ

お買物は三越へ

品質が良く、新流行品揃ひにて、價もまた低廉です

三越はデパートメント、ストアですから日常生活に御必要な品は大抵揃へてあります

何と申しましても良い品は東京に限ります、東京でも三越の品ならばお安心してお買物が出來ます。

地方からのお註文はお手紙にて通信販賣部へ御一報下さいますれば迅速にお送り致します

三越

東京駿河町

實用本位の百貨店

お客樣本位の百貨店

高島屋

東京上野 良品廉賣 銀座

大阪日本橋 實用百貨 名古屋

松阪屋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年十二月一日發行
同 三年十一月廿八日印刷納本

第六年第十二號
每月一回一日發行

定價一部十錢（郵稅五厘）半年六十錢 一年一圓（稅共）

發行所 東京市芝區南佐久間町二丁目十八番地（振替東京六六八三）進め社本部
發行編輯兼印刷人 神庭仲之助 大阪市東區淡路町十三西之町三 大阪事務所